

2024年3月期 決算説明会

連結決算の概要 事業環境および業績予想

株式会社SCREENホールディングス

Innovation for a Sustainable World

代表取締役 取締役社長 (CEO)

廣江 敏朗

代表取締役 専務取締役 (CFO)

近藤 洋一

資料取り扱い上の注意

- 本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切り捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。
- 本資料では、例えば、「FY2024/03」と示す場合、2023年4月1日～2024年3月31日の会計期間を表します。

2024年5月9日

SCREEN



人と技術をつなぎ、未来をひらく

Agenda

01. 連結決算の概要	P03
02. 事業環境および業績予想	P14
03. 中期経営計画 “Value Up Further 2026” 概要	P28
04. 最近のグループニュース	P42
05. Topics	P43
06. Appendix	P50

連結決算の概要

2024年3月期 通期 決算説明会

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 専務取締役 (CFO)

近藤 洋一

2024年5月9日



FY2024/03 連結業績の概要

全社>>

前期比増収増益、売上、営業利益（率）、経常利益、当期純利益、いずれも過去最高

→ 1月予想比、売上、各利益、いずれも上振れ

→ 1株当たり期末配当を1月予想比増配（119円→140円）、通期は株式分割前換算ベースで計447円、過去最高

SPE>>

前期比増収増益、売上、営業利益（率）ともに過去最高

GA>>

前期比増収増益。営業利益率は過去最高

FT>>

前期比減収なるも、赤字幅縮小

PE>>

前期比減収減益

FY2024/03 連結業績

四半期

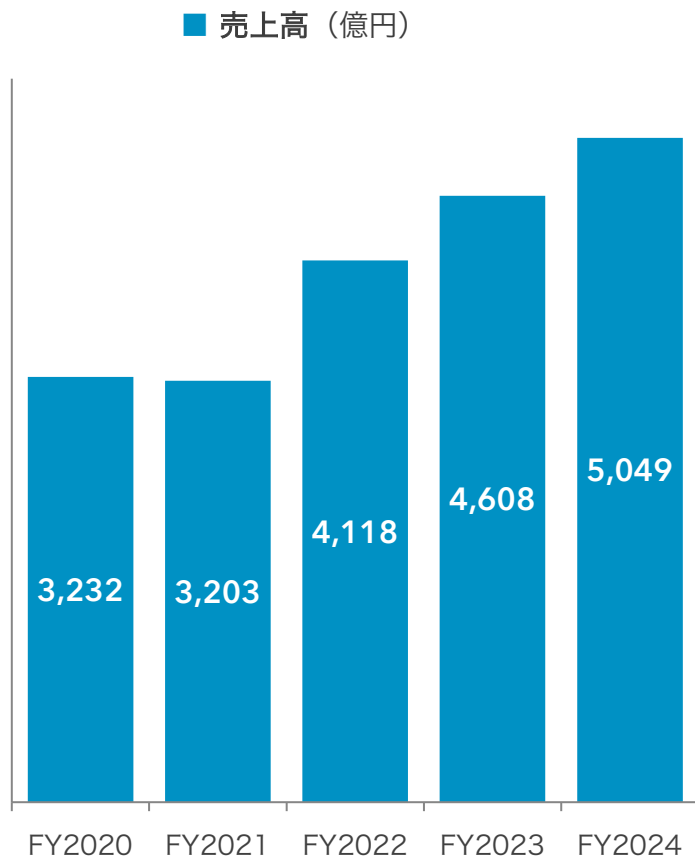
	FY2024/03					
	1Q	2Q	3Q	4Q	前四半期比	
(億円)						
売上高	996	1,235	1,245	1,570	325	26.1%
営業利益 営業利益率	134 13.5%	251 20.3%	251 20.2%	304 19.4%	53	21.2% -0.8pt
経常利益	136	256	253	295	42	16.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	94	169	182	259	77	42.4%

通期

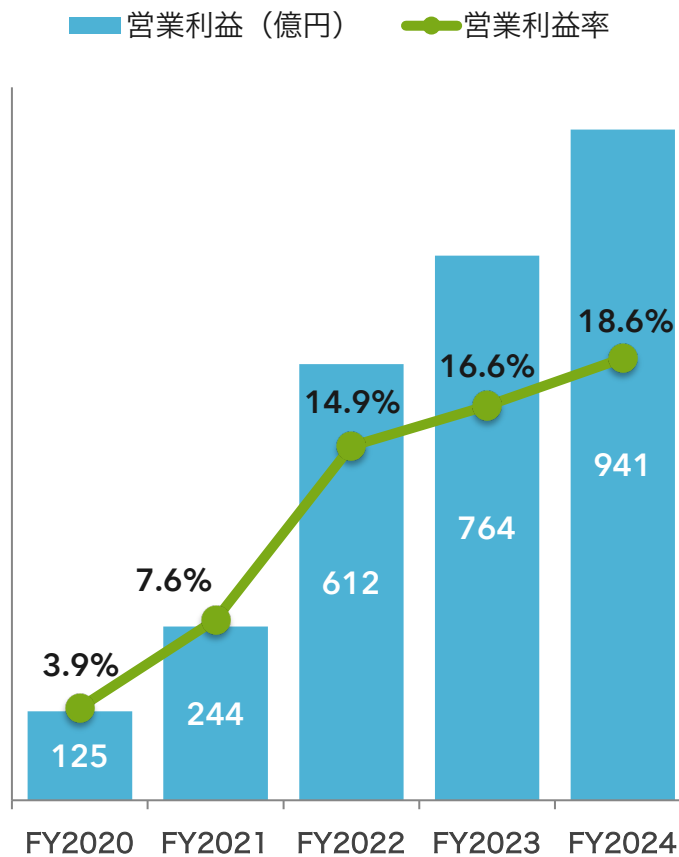
	FY2023/03	FY2024/03	前年同期比	
	通期	通期		
売上高	4,608	5,049	440	9.6%
営業利益 営業利益率	764 16.6%	941 18.6%	177	23.2% 2.0pt
経常利益	773	942	168	21.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	574	705	130	22.8%

連結決算の概要

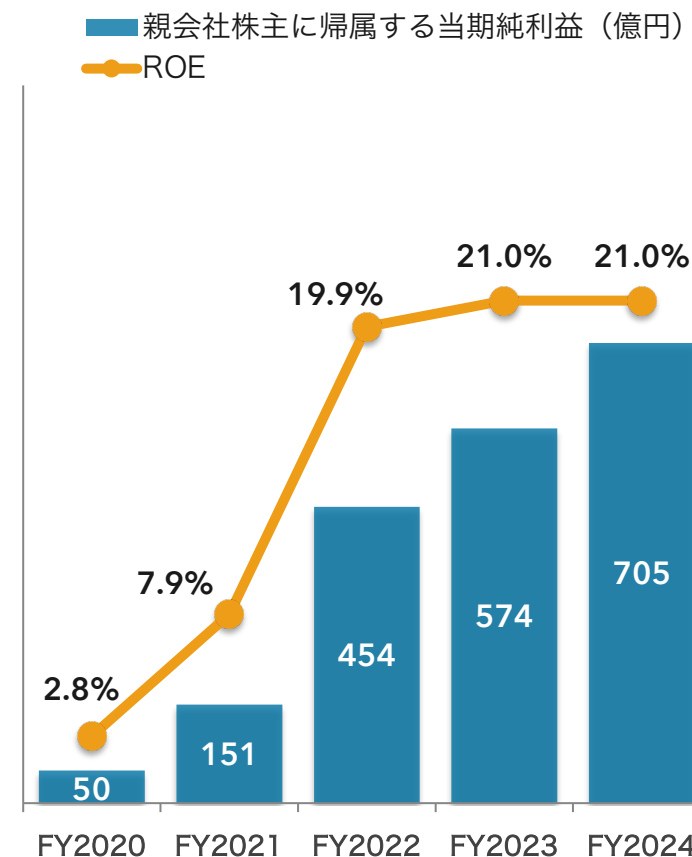
売上高



営業利益と営業利益率



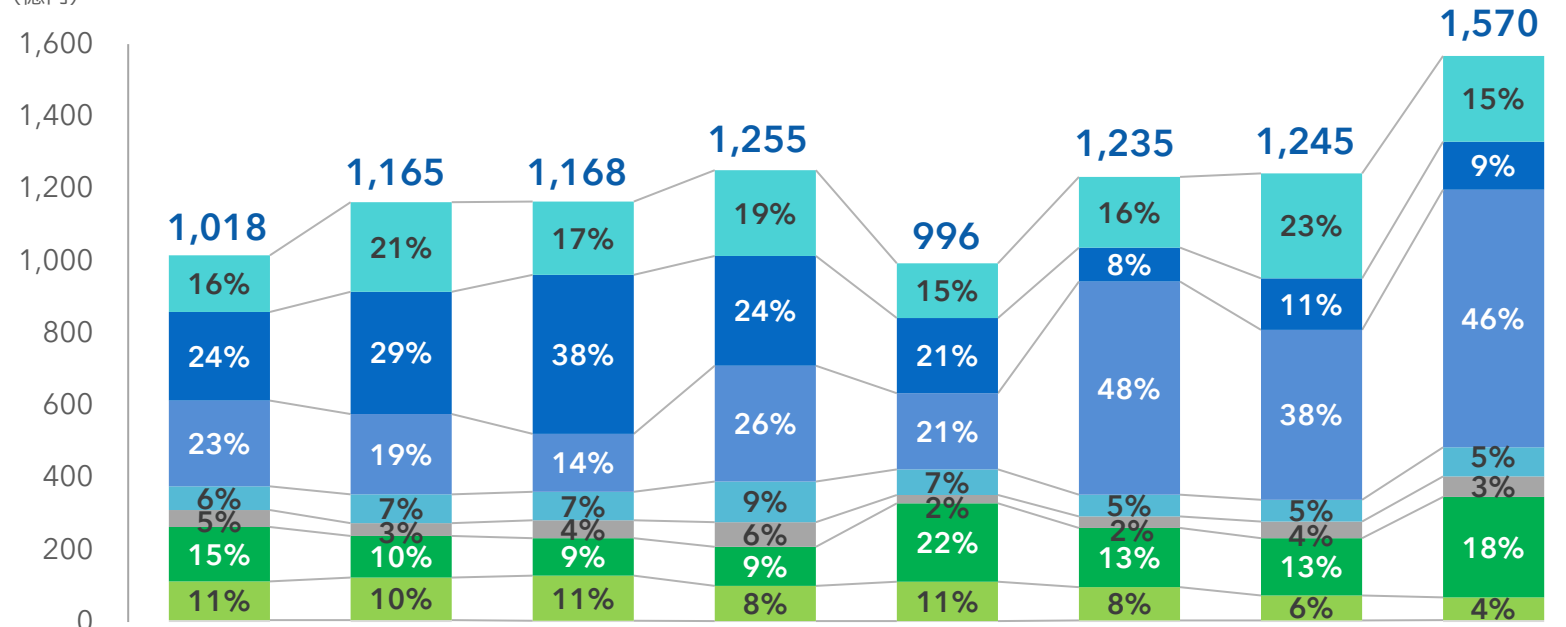
当期純利益とROE



全社地域別売上高比率

四半期

(億円)

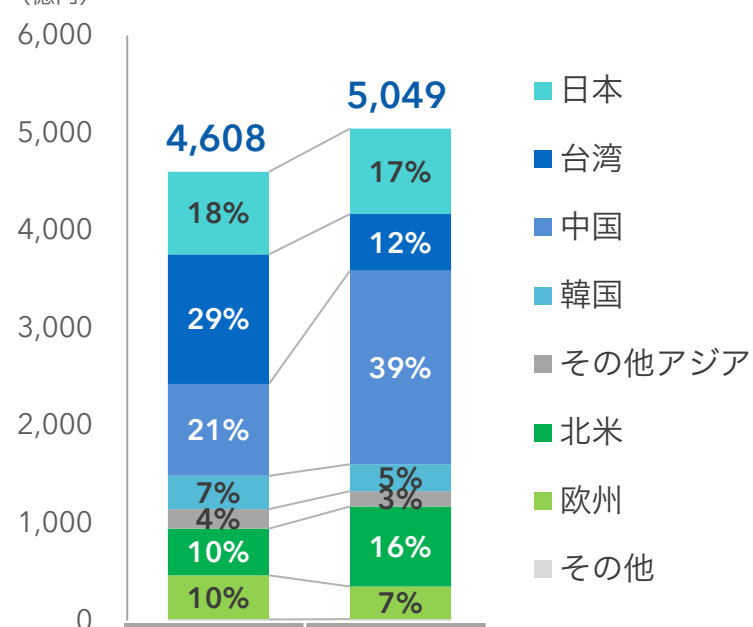


(億円)

地域	FY2023/03				FY2024/03			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
日本	157	248	203	238	152	196	291	237
台湾	245	338	440	304	208	94	142	133
中国	238	223	161	320	211	590	471	714
韓国	65	80	79	113	71	60	60	80
その他アジア	47	35	49	68	23	32	46	57
北米	151	115	104	108	217	164	159	278
欧州	107	118	125	98	109	92	69	63
その他	5	5	3	2	2	4	4	5

通期

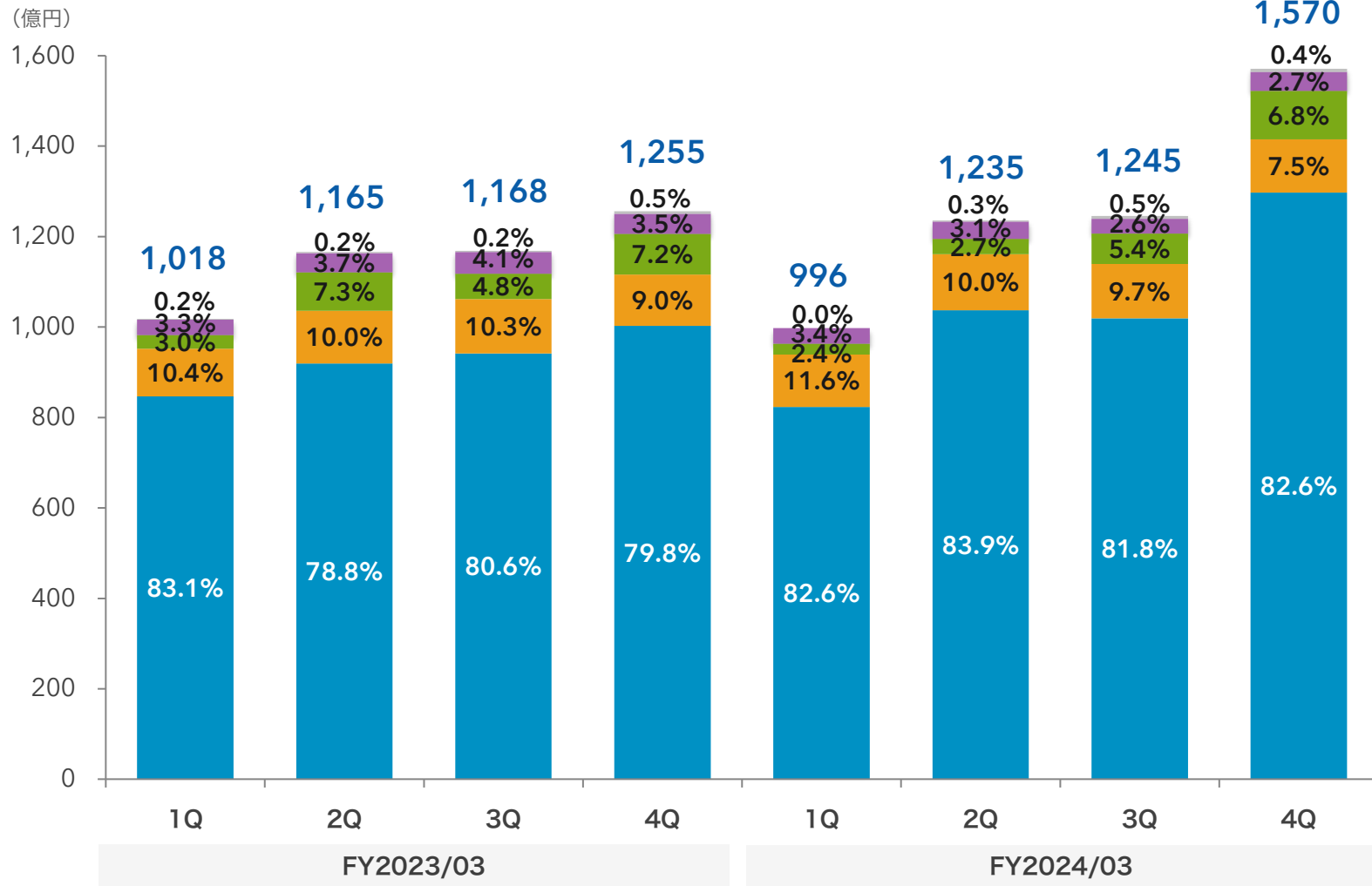
(億円)



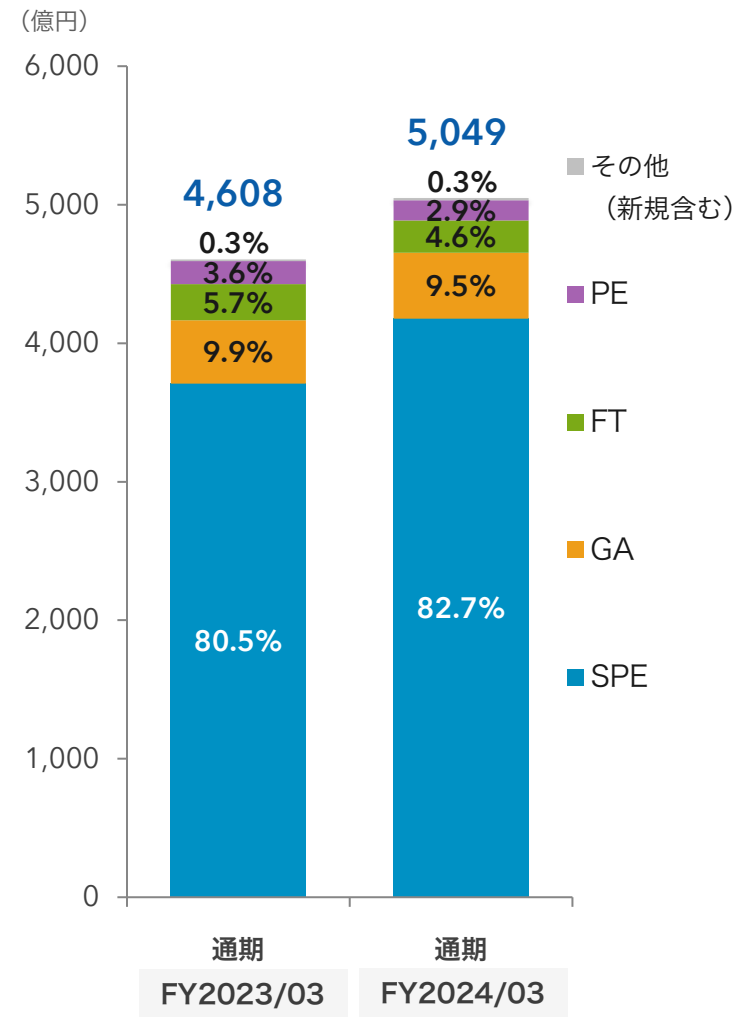
地域	FY2023	FY2024
	日本	847
台湾	1,329	579
中国	943	1,987
韓国	339	273
その他アジア	200	158
北米	480	820
欧州	449	334
その他	16	17

セグメント別売上高比率

四半期



通期



FY2024/03 連結業績 /セグメント別/

	(億円)	FY2023/03				FY2024/03				FY2023	FY2024
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期
SPE	売上	846	919	941	1,002	823	1,037	1,019	1,296	3,709	4,176
	営業利益	188	195	173	211	137	251	255	325	769	970
	営業利益率	22.3%	21.3%	18.5%	21.1%	16.8%	24.2%	25.1%	25.1%	20.7%	23.2%
GA	売上	105	116	120	113	115	123	120	117	456	477
	営業利益	6	9	10	6	9	12	13	7	33	42
	営業利益率	6.4%	8.2%	9.0%	6.1%	8.0%	10.2%	11.0%	6.7%	7.4%	9.0%
FT	売上	30	84	56	90	23	33	67	107	261	232
	営業利益	-8	-2	-0	-7	-4	-1	-0	2	-18	-4
	営業利益率	-27.0%	-3.1%	-0.8%	-7.8%	-20.1%	-4.9%	-0.2%	2.2%	-7.0%	-1.8%
PE	売上	33	42	47	44	34	38	32	41	168	146
	営業利益	4	11	10	7	3	6	2	5	33	18
	営業利益率	14.0%	26.2%	21.1%	17.2%	10.9%	17.6%	7.7%	13.5%	19.9%	12.7%

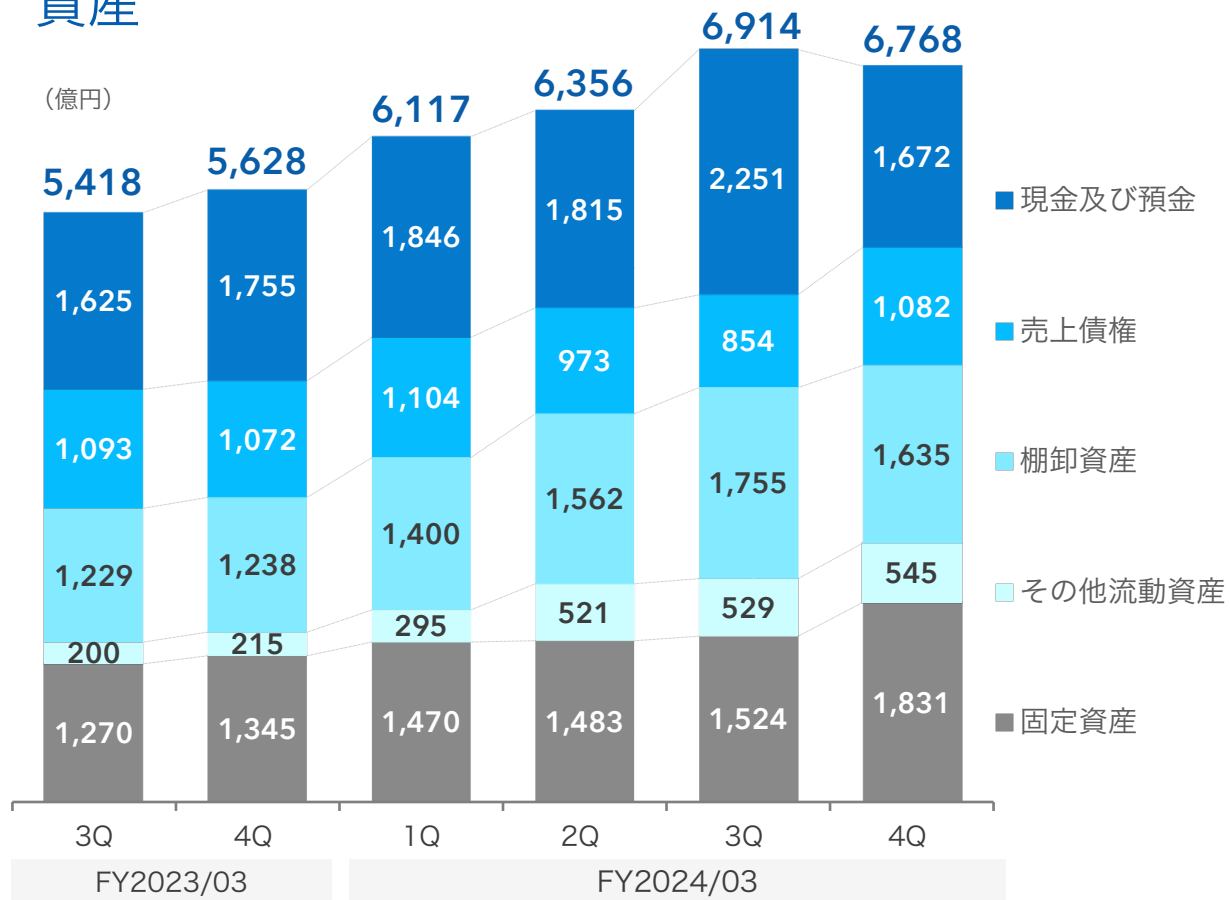
FY2024/03 連結業績

／セグメント別／

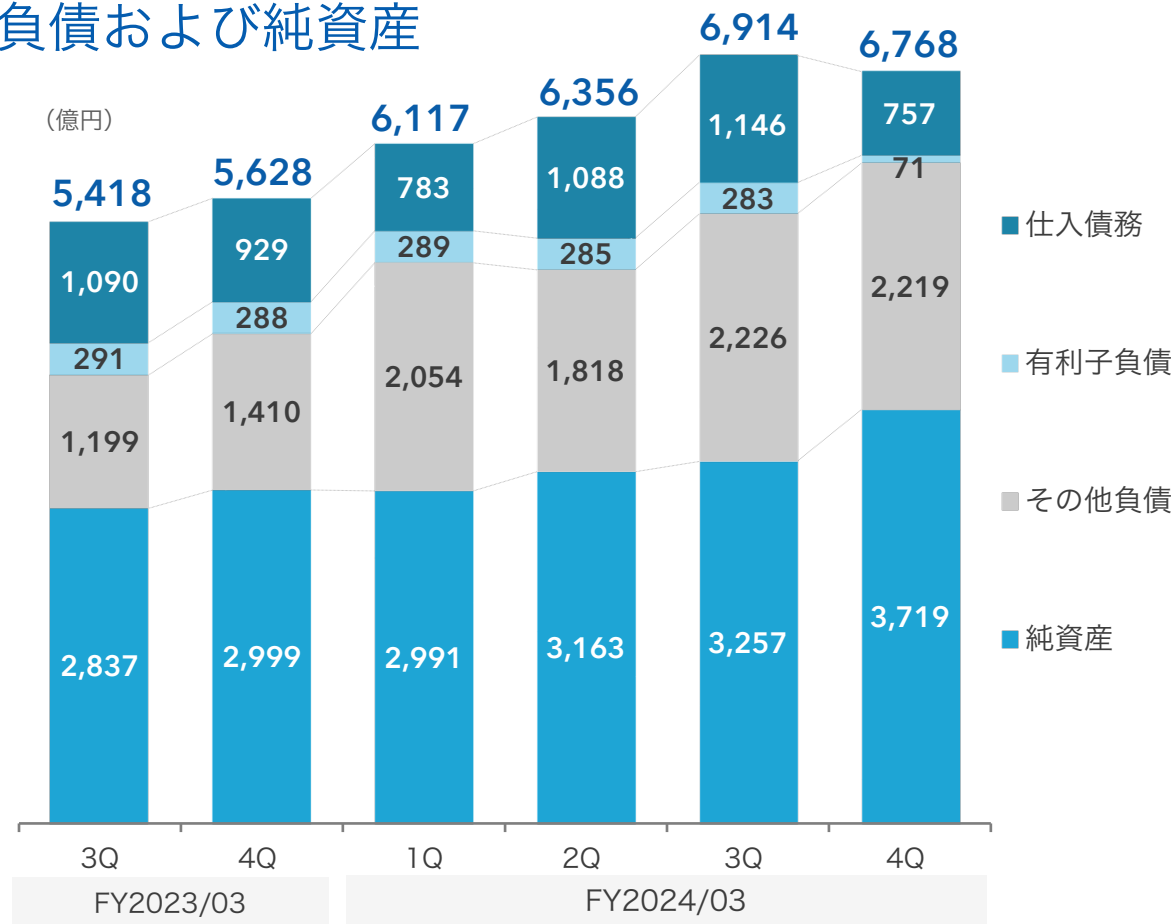
	(億円)	FY2024/03		QoQ				FY2023	FY2024	YoY			
		3Q	4Q	売上増減		営業利益増減		通期	通期	売上増減		営業利益増減	
SPE	売上	1,019	1,296	277	27.2%	70	27.4%	3,709	4,176	467	12.6%	200	26.1%
	営業利益 営業利益率	255 25.1%	325 25.1%	増収増益。ファウンドリー向けが増加。中国、北米向けが増加				769 20.7%	970 23.2%	増収増益。ファウンドリー向けが増加。メモリー向けは減少。中国、北米向けが増加			
GA	売上	120	117	-2	-2.1%	-5	-40.1%	456	477	21	4.7%	8	26.4%
	営業利益 営業利益率	13 11.0%	7 6.7%	減収減益。リカーリングビジネスは安定				33 7.4%	42 9.0%	増収増益。POD中心に装置本体、リカーリングビジネスともに堅調に推移			
FT	売上	67	107	39	59.3%	2	-%	261	232	-29	-11.2%	14	-%
	営業利益 営業利益率	-0 -0.2%	2 2.2%	増収増益。約2年振りに四半期ベースで黒字化				-18 -7.0%	-4 -1.8%	減収、事業再生に向け赤字幅縮小			
PE	売上	32	41	9	29.9%	3	126.3%	168	146	-21	-12.8%	-14	-44.6%
	営業利益 営業利益率	2 7.7%	5 13.5%	増収増益。営業利益率10%台に改善				33 19.9%	18 12.7%	減収減益。パッケージ基板向け投資抑制の影響			

財務状況：連結貸借対照表

資産



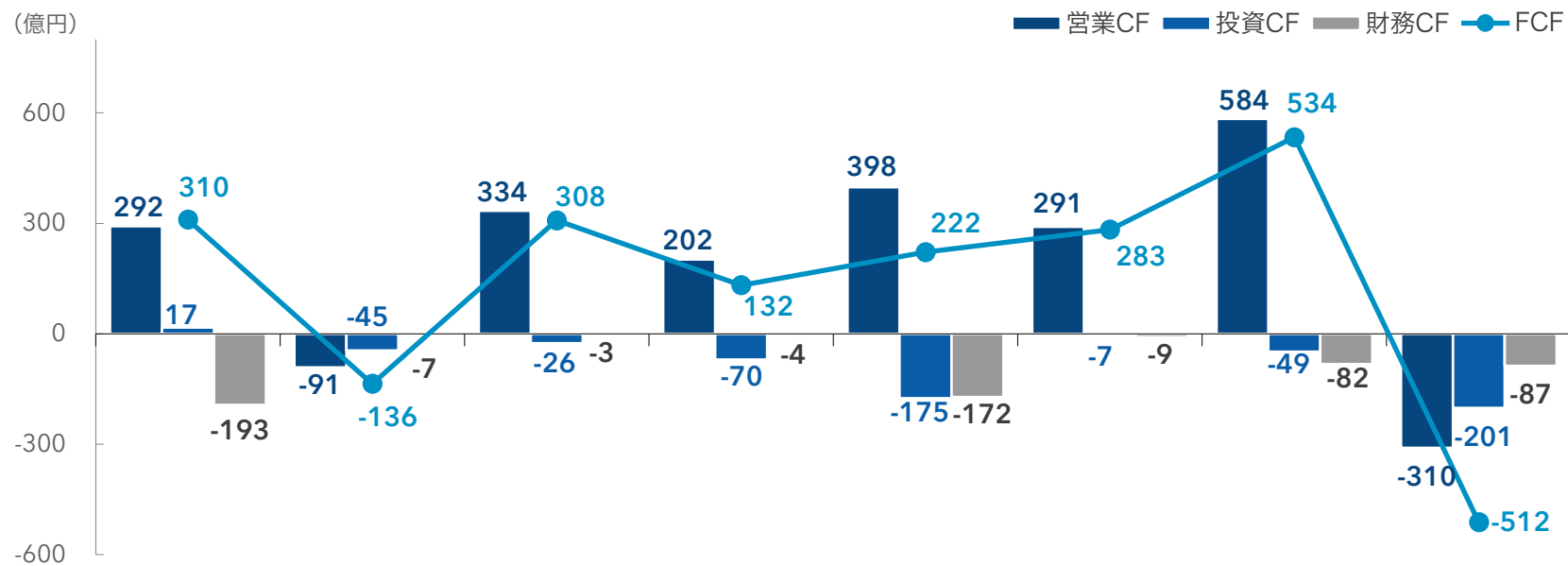
負債および純資産



>>> 純資産の増加、仕入債務圧縮等により、自己資本比率54.9%。純資産は3,719億円

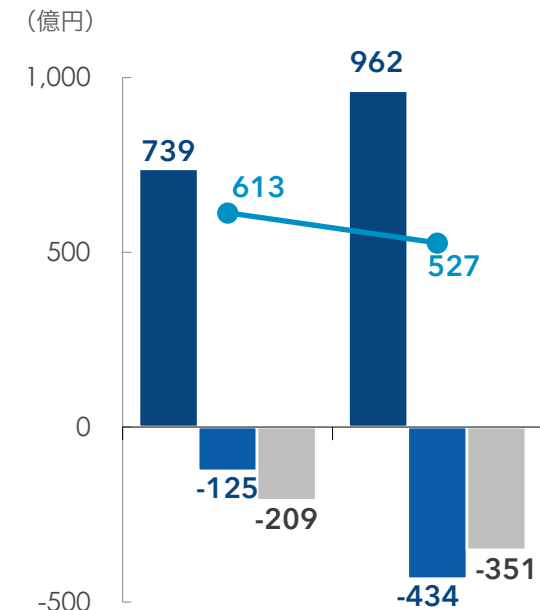
財務状況：連結キャッシュ・フロー

四半期



(億円)	FY2023/03				FY2024/03			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業CF	292	-91	334	202	398	291	584	-310
投資CF	17	-45	-26	-70	-175	-7	-49	-201
FCF	310	-136	308	132	222	283	534	-512
財務CF	-193	-7	-3	-4	-172	-9	-82	-87

通期



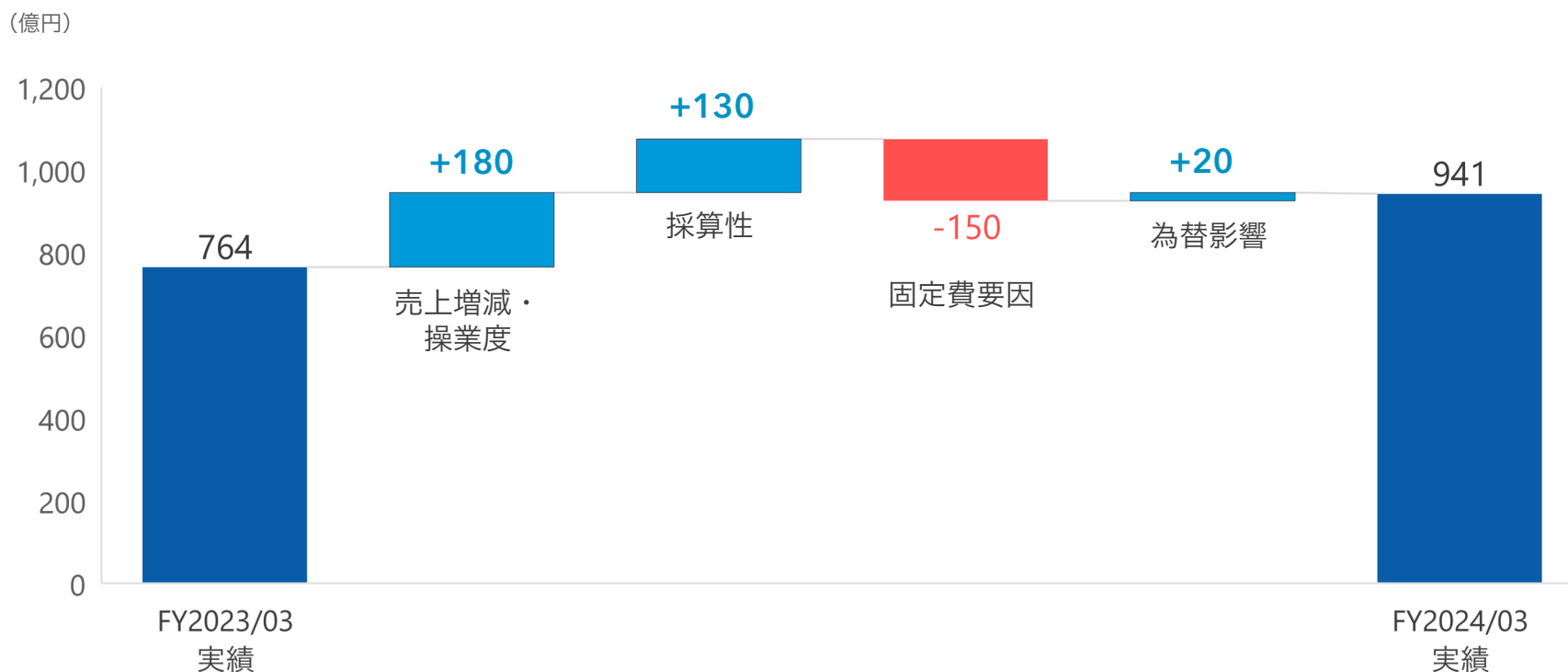
	FY2023/03	FY2024/03
通期	739	962
通期	-125	-434
通期	613	527
通期	-209	-351

※ FCF：フリーキャッシュ・フロー

>>> 通期営業CFは962億円。4Qの営業CFマイナスは支払いサイト短縮による一時的なもの

営業利益増減分析

FY2023/03 実績 vs FY2024/03 実績



※利益要因は、5億円刻みの「約」表記

- >>> 売上増減/操業度の要因は、主にSPE。採算性の改善は、主にSPE、FT
固定費の増加要因は、主にSPEの成長投資（人件費、減価償却費、研究開発費など）
為替影響は、主にGA、PE

事業環境および業績予想

2024年3月期 通期 決算説明会

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 取締役社長（CEO）

廣江 敏朗

2024年5月9日



事業環境および業績予想

事業環境

- **SPE**：CY2024の半導体市況は、PC、スマホ、サーバー向けでプラス成長の見込み。特にサーバー向けは金額ベースで大きく増加を想定。CY2024のWFEについては、中国での成熟ノード向け投資、DRAM投資の回復、台湾での最先端投資が牽引しプラス成長する見通し。パワー半導体、センサー類は足元需要が弱含む
- **GA**：足元は5月のdrupa展（業界最大の展示会、8年振り）前の買い控えあるも、新製品リリースによりその後は回復を見込む
- **FT**：ディスプレイ需要は想定どおり好転。今期、受注は徐々にOLEDが増加する見通し
- **PE**：メモリー需要の回復を受けた投資は、今期後半以降を見込む

業績予想

- **FY2025 通期予想は、前期比、増収増益**
→売上、営業利益ともに、4期連続で過去最高を更新予定
- **FY2025 通期配当、過去最高に（通期計224円を予想）** ※ご参考：株式分割前換算ベースで計448円
- **新・中期経営計画「Value Up Further 2026」スタート**

SPE 事業概況

市場動向および見通し

- **WFE：CY2023は-5%程度で着地。CY2024は一桁%中盤の成長を見込む**

ファウンドリー・ロジック：最先端向け投資に加速の動き

メモリー：CY2024後半よりDRAM投資は回復を想定

- **アプリケーション別投資動向**

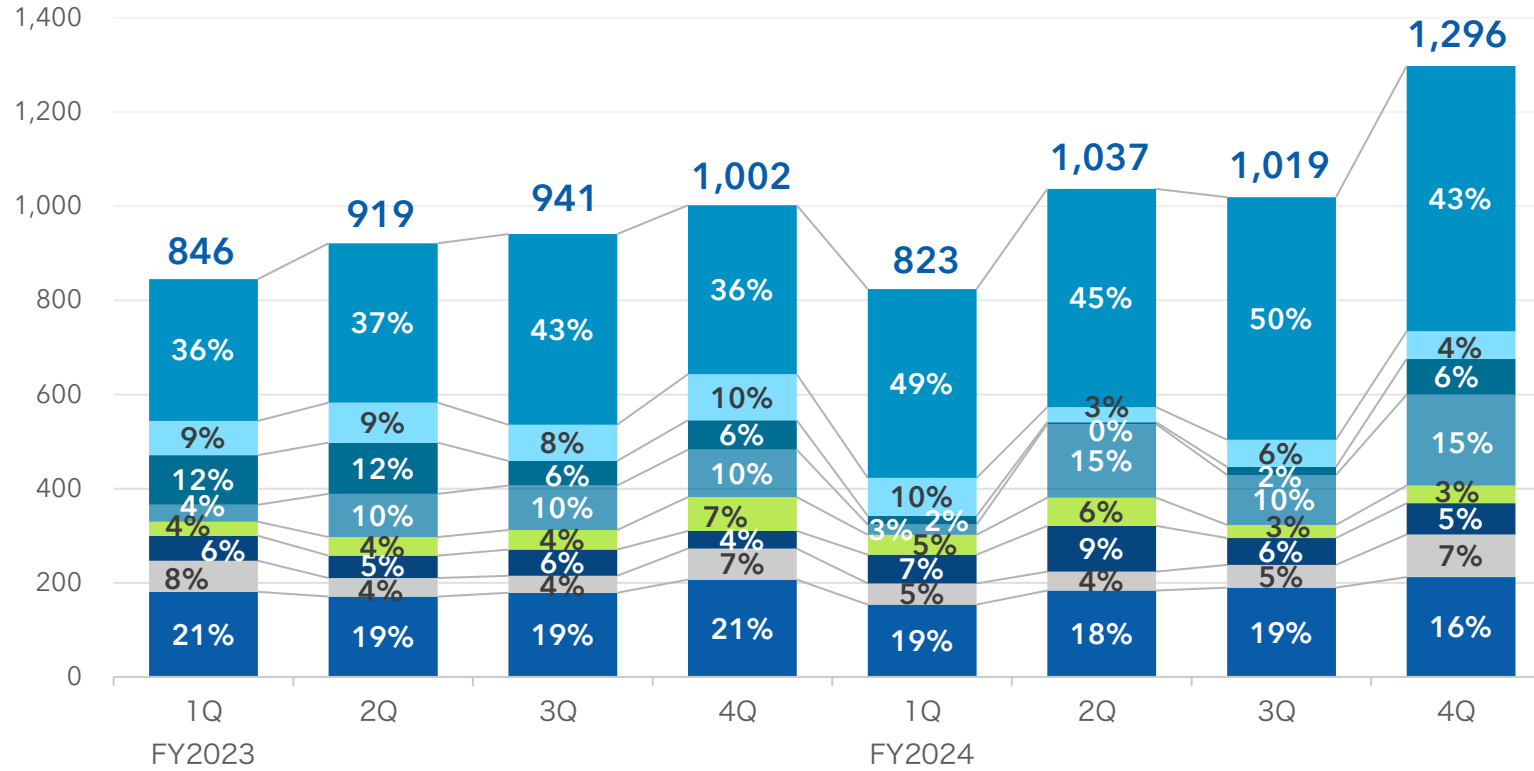
- **ファウンドリー** AI半導体需要の高まりを受け最先端向け量産が前倒し
- **ロジック** 新工場設備導入は予定どおり進行
- **メモリー** AI関連で年後半よりDRAM設備投資回復見込み。NANDもサーバー容量増加に伴い徐々に投資再開を想定
- **画像素子** 高性能スマホ好調により中国で投資増加の兆し
- **パワーデバイス・その他** 需給バランスから投資は若干弱含む

- **中国市場：既存・新興ファウンドリー、メモリーの成熟ノード向け投資は活発**

SPE 連結・新規装置アプリケーション別、およびポストセールス売上推移

四半期

(億円)

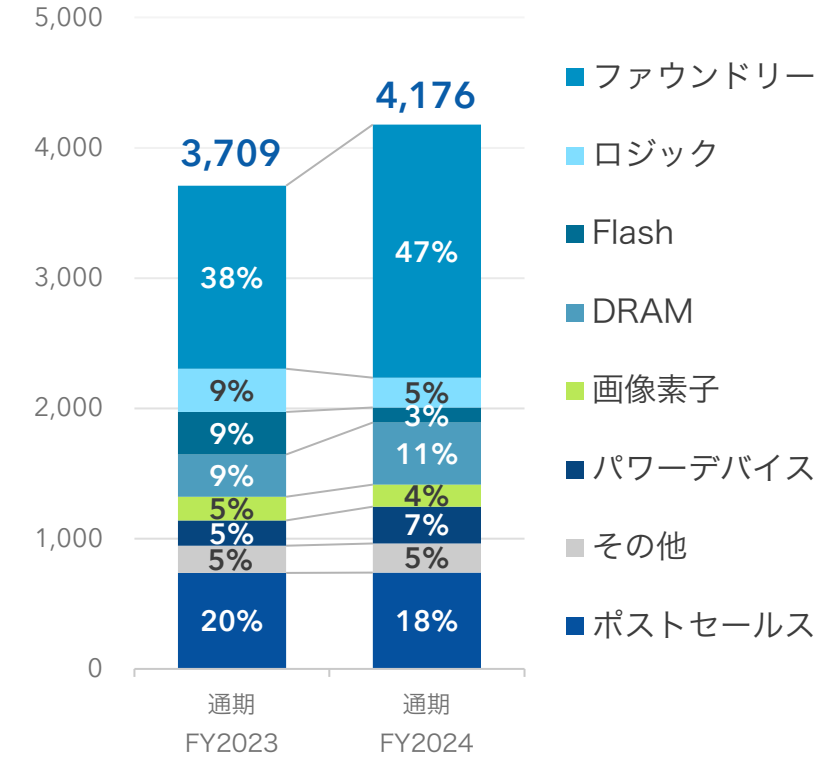


ポストセールス
売上高 (億円)

181 171 179 207 154 184 190 212

通期

(億円)



738 740

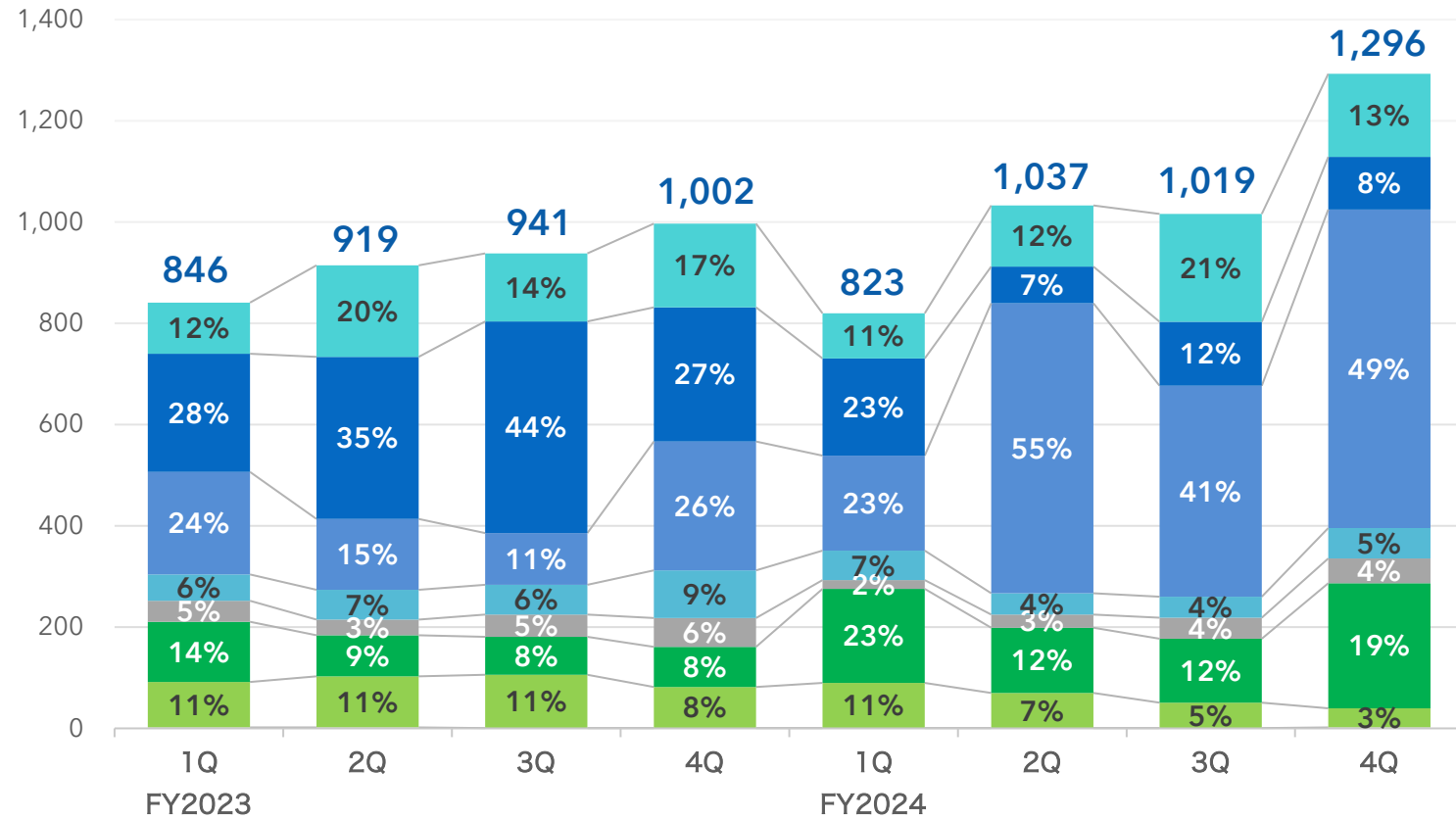
>>> アプリケーション別 (QoQ) : DRAM、Flash増、中国向けが牽引
 (4Q YoY) : ファウンドリー大幅増、DRAM増、中国向けが牽引
 (通期 YoY) : ファウンドリー大幅増、DRAM増、中国向けが牽引

ポストセールス (QoQ) : 売上増加するも本体売上増加により比率は減

SPE 連結地域別売上高比率 - 仕向地ベース

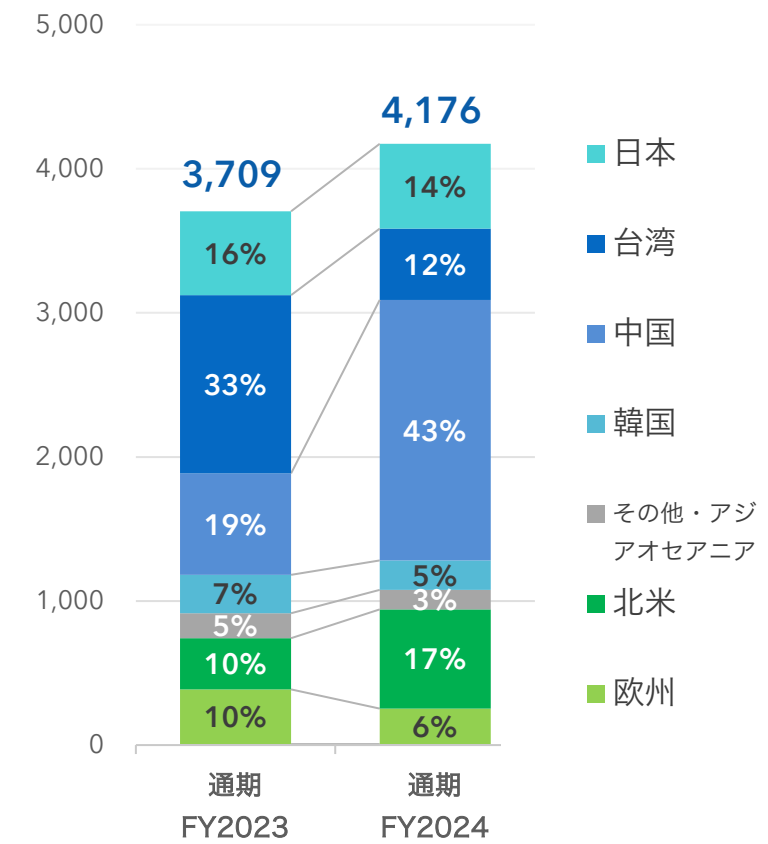
四半期

(億円)



通期

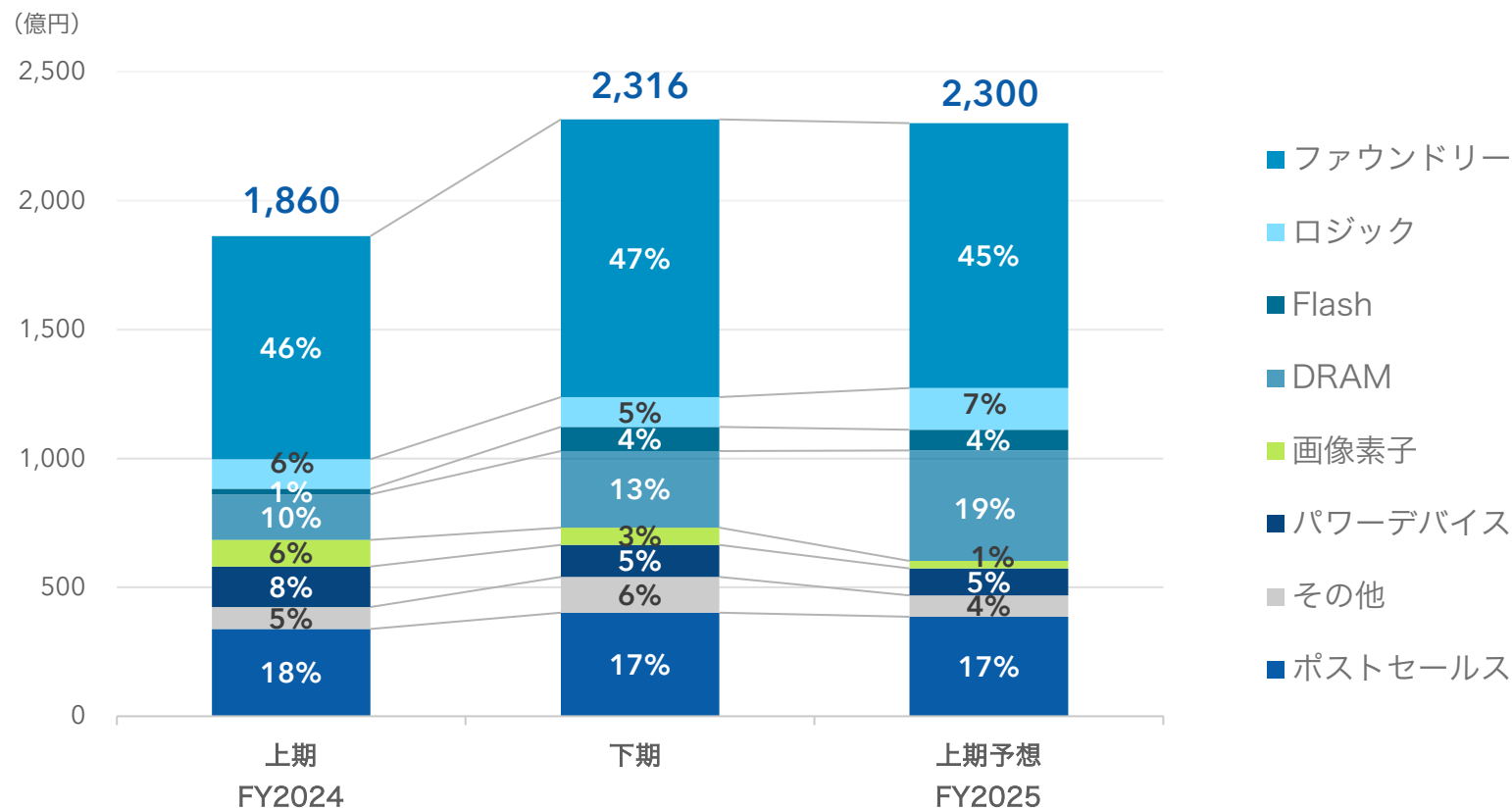
(億円)



- >>> 地域別 (QoQ) : 中国向けが再び増加。北米も増
- (4Q YoY) : 中国向け、北米向けほぼ倍増
- (通期 YoY) : 中国向け倍増以上、北米も大きく増

SPE売上高比率予想（連結） アプリケーション（デバイス）別

半期

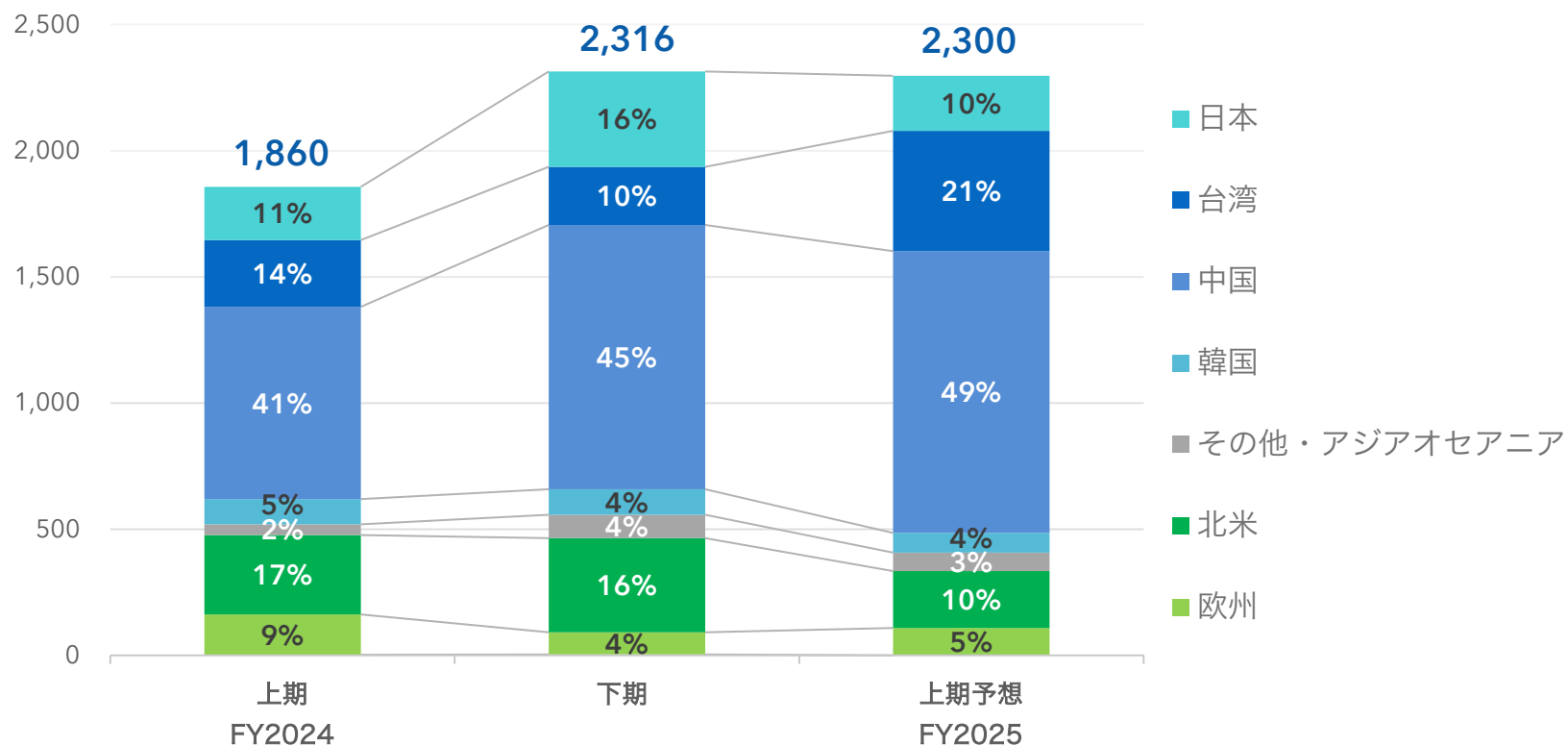


>>> アプリケーション別：前期下期vs今期上期予想 DRAM増。ロジック若干増
 前期上期vs今期上期予想 DRAM大きく増。Flash若干増

SPE売上高比率予想（連結） 地域別 仕向地ベース

半期

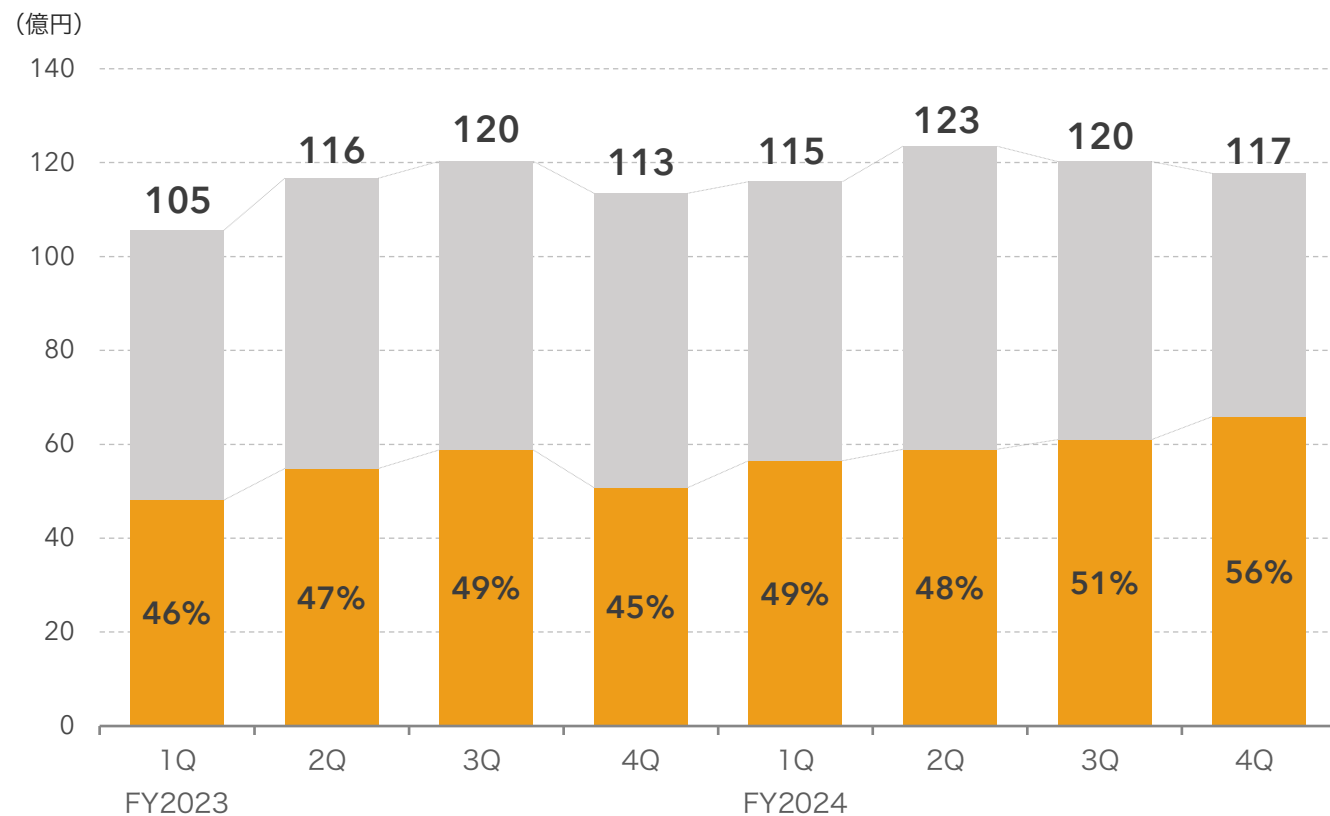
（億円）



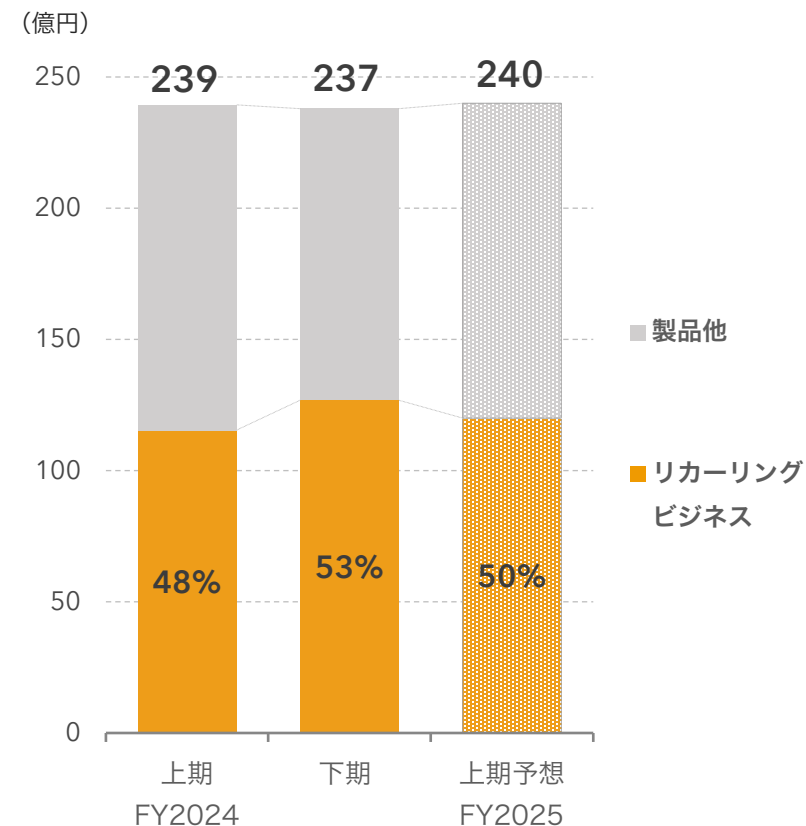
>>> 地域別：前期下期vs今期上期予想 中国比率増。台湾比率増
 前期上期vs今期上期予想 中国比率増。台湾比率増

GA 連結売上高推移

四半期



半期

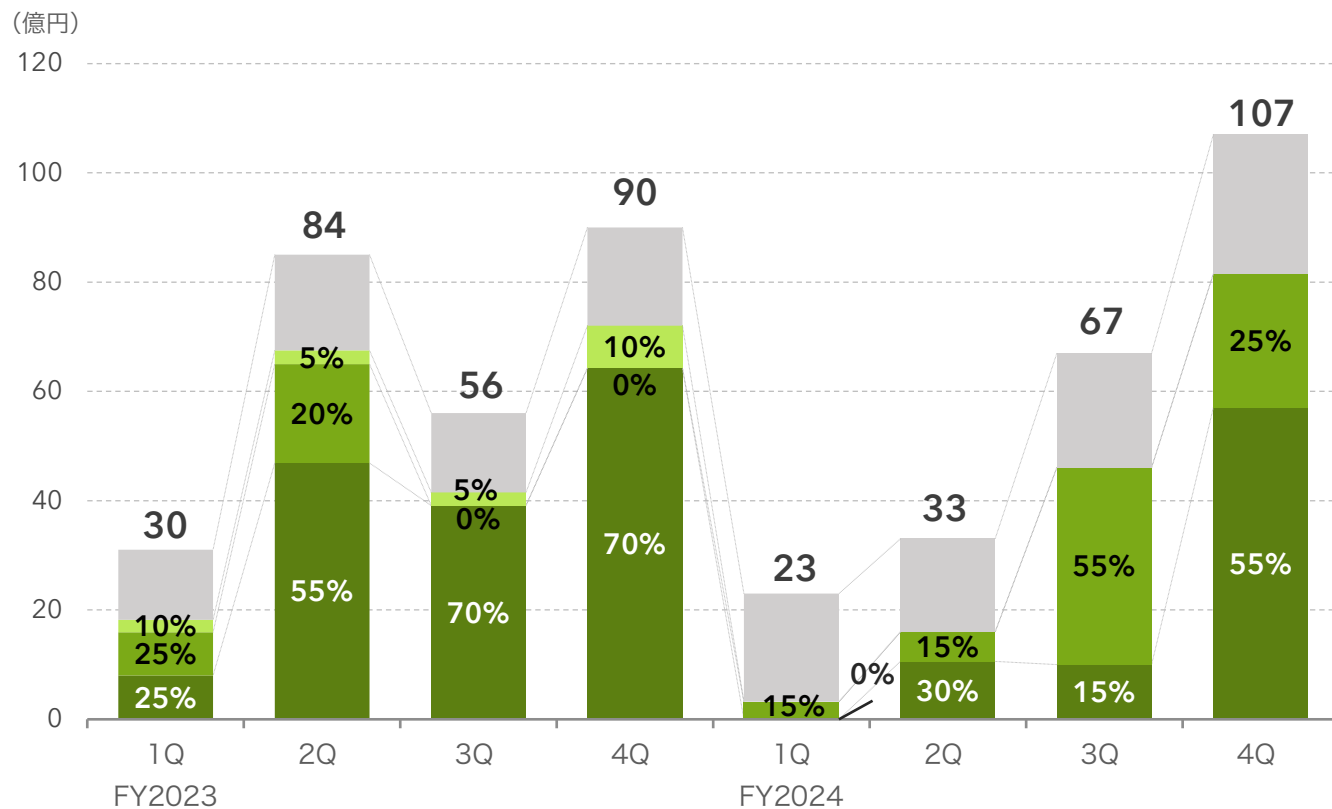


*注) 予想比率は、5%刻みの「約」表記

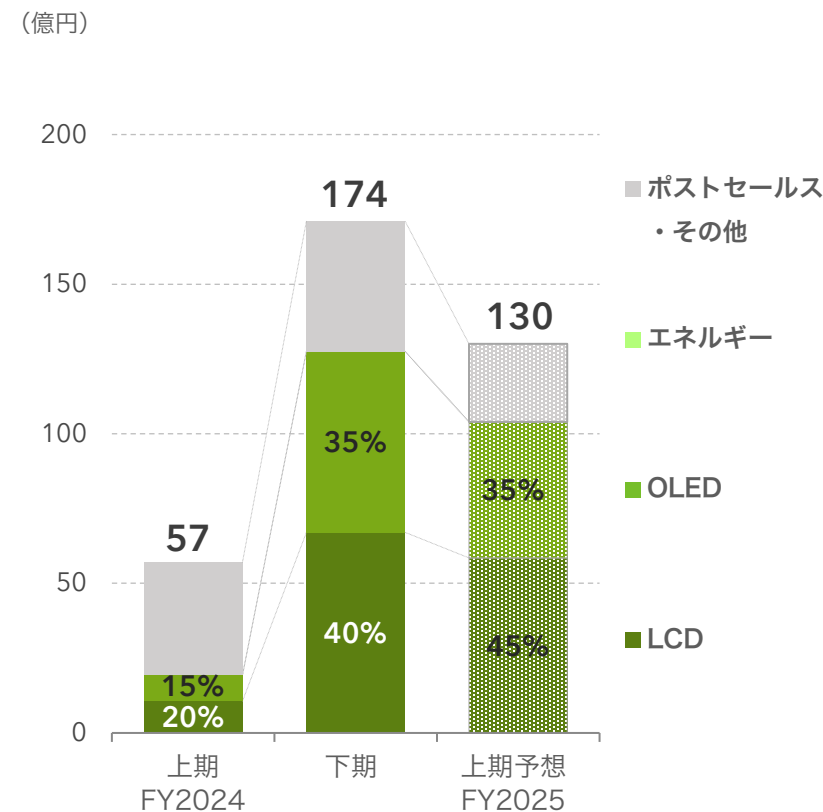
>>> 足元はdrupa展前の買い控えあるも、新製品リリースによりその後回復を見込む
 インクを中心にリカーリングビジネス (RB) は安定推移。通期、営業利益率は前期並みを目指す

FT 連結売上高推移

四半期



半期

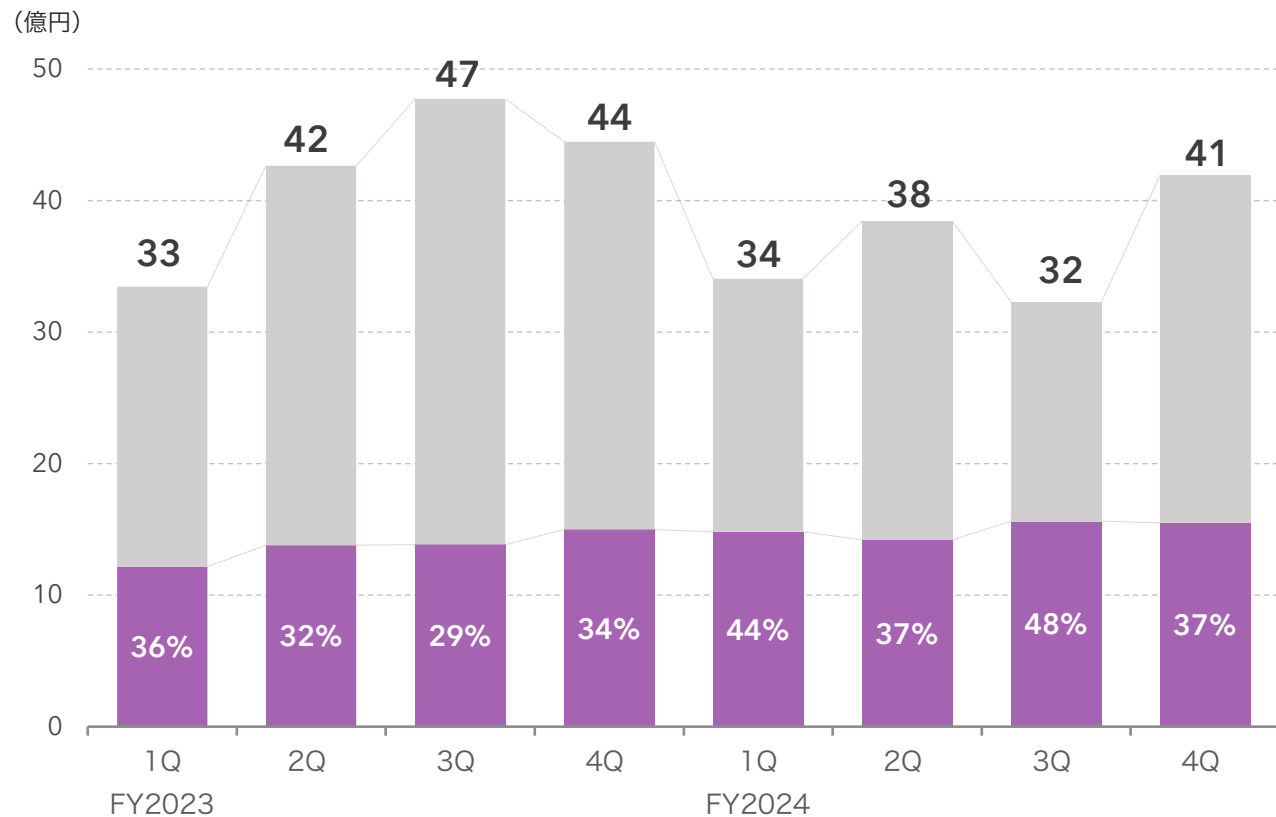


*注) 予想比率は、5%刻みの「約」表記。FY2024から、エネルギーはその他に含める

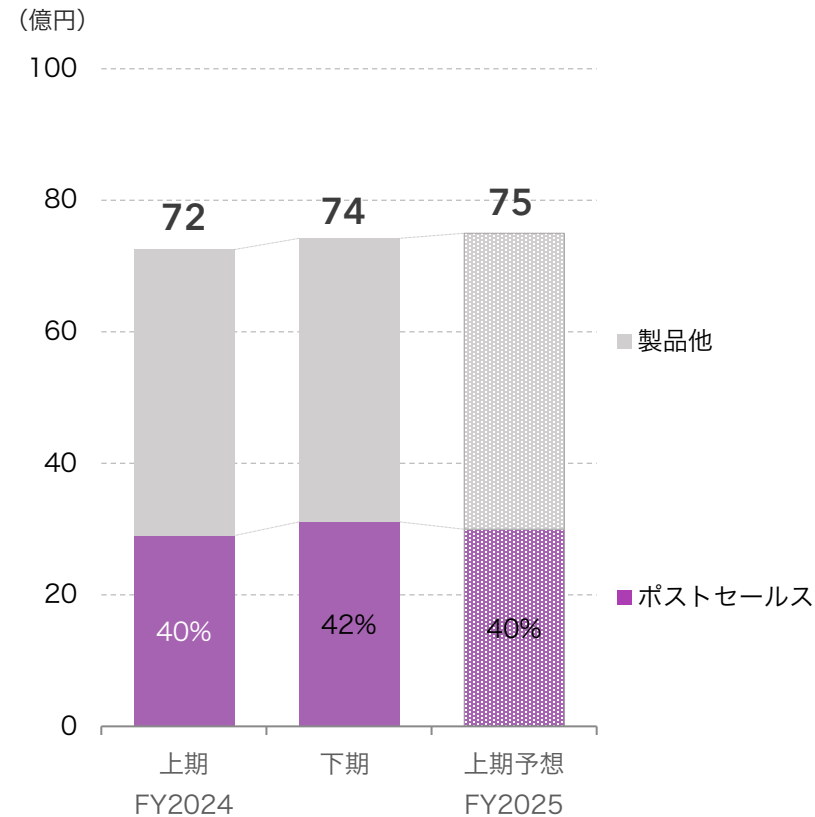
>>> ディ스플레이需要は想定どおり好転。今期、受注は徐々にOLEDが増加する見通し
今期売上は、LCD中心。通期、黒字回復を予想

PE 連結売上高推移

四半期



半期



*注) 予想比率は、5%刻みの「約」表記

>>> パッケージ向け投資回復は今期後半以降を見込む。市場回復後の成長に期待し、上期に新製品をリリース予定
ポストセールスは堅調、営業利益率10%以上を継続

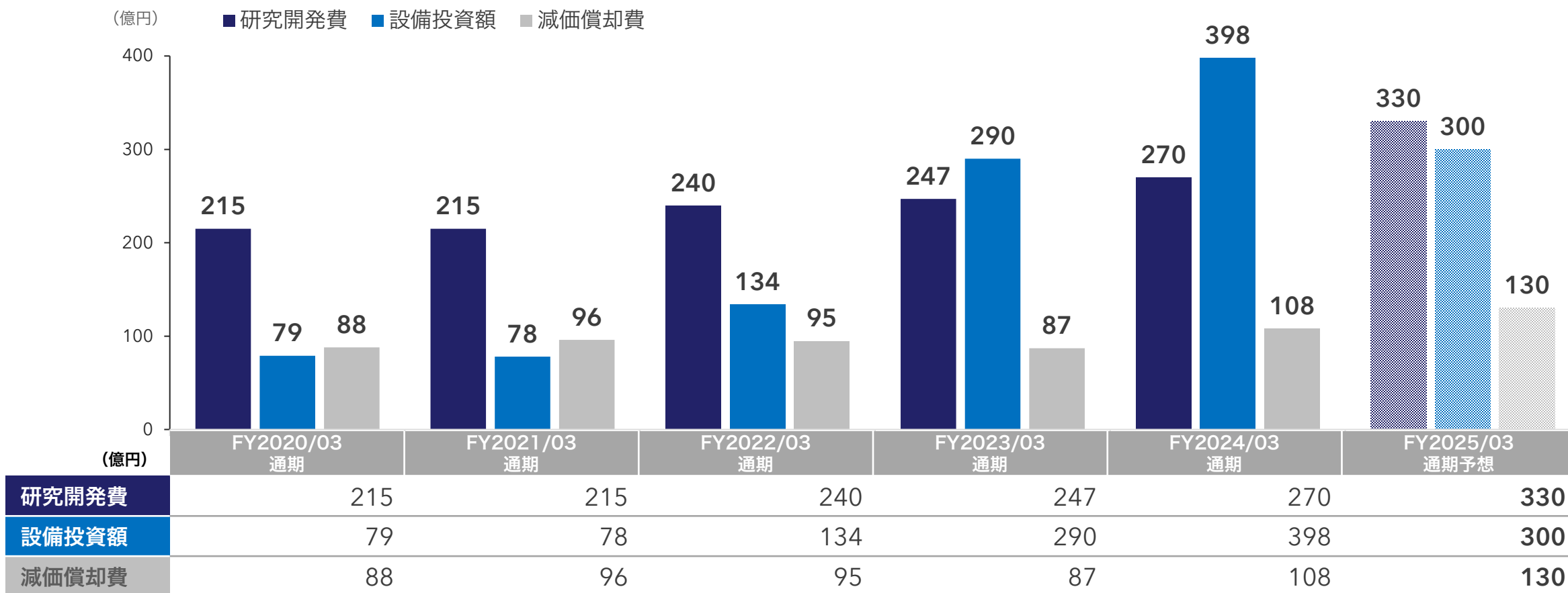
FY2025/03 業績予想 (2024年5月9日時点)

	(億円)	FY2024/03 実績			FY2025/03 予想		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高		2,232	2,816	5,049	2,760	2,840	5,600
営業利益		385	556	941	480	520	1,000
営業利益率		17.3%	19.7%	18.6%	17.4%	18.3%	17.9%
経常利益		393	549	942	480	520	1,000
親会社株主に帰属する 当期純利益		263	442	705	320	400	720
SPE	売上	1,860	2,316	4,176	2,300	2,300	4,600
	営業利益	389	581	970	530	530	1,060
	営業利益率	20.9%	25.1%	23.2%	23.0%	23.0%	23.0%
GA	売上	239	237	477	240	240	480
	営業利益	21	21	42	15	15	30
	営業利益率	9.1%	8.8%	9.0%	6.3%	6.3%	6.3%
FT	売上	57	174	232	130	210	340
	営業利益	-6	2	-4	-10	20	10
	営業利益率	-11.2%	1.3%	-1.8%	-7.7%	9.5%	2.9%
PE	売上	72	74	146	75	75	150
	営業利益	10	8	18	10	10	20
	営業利益率	14.4%	11.0%	12.7%	13.3%	13.3%	13.3%
その他および調整	売上	2	13	15	15	15	30
	営業利益	-29	-55	-85	-65	-55	-120

注) FY2025/03 (通期) 想定為替レート>> 1USD=¥140、1EUR=¥150
 想定為替感応度 (通期営業利益ベース) >> 対USD: ¥1.0億、対EUR: ¥0.2億

*セグメント別営業利益予想: 5億円刻みの「約」表記

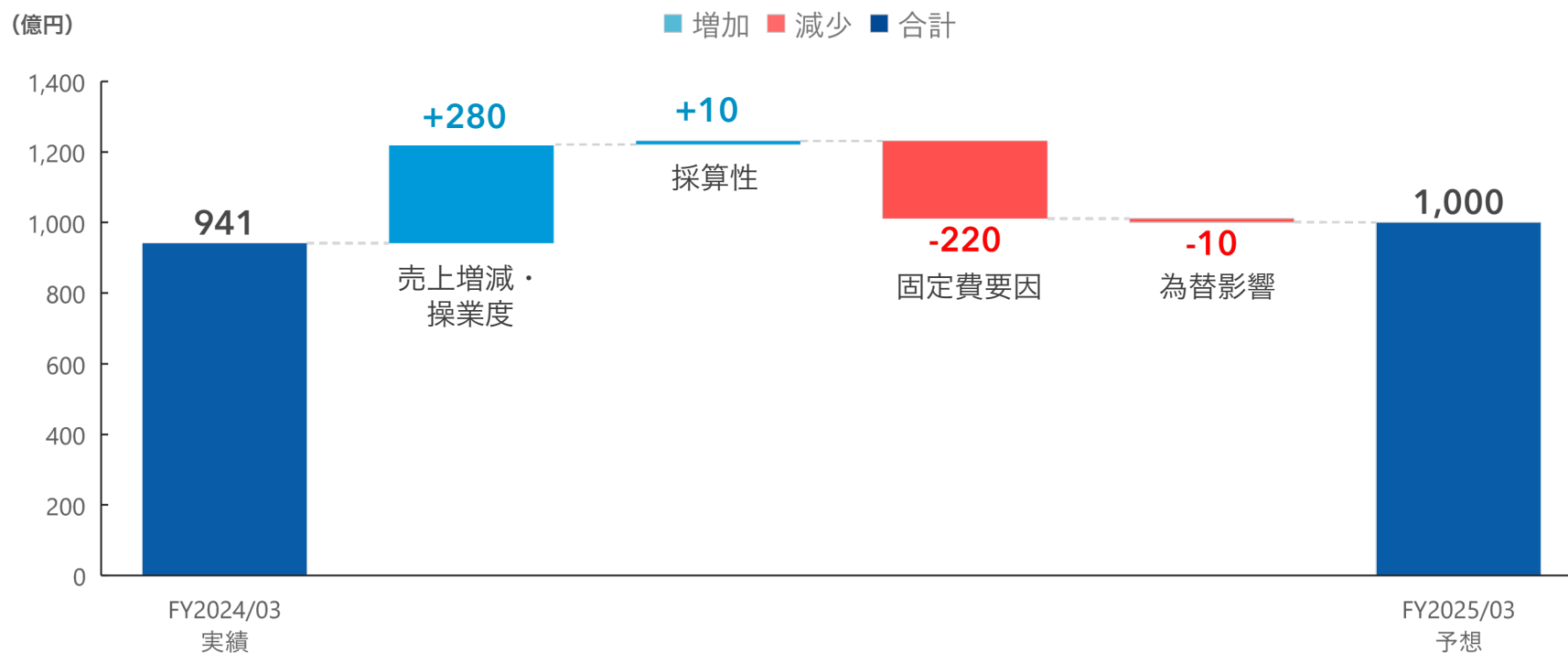
研究開発費・設備投資計画・減価償却



- >>> 研究開発費：SPE中心に戦略投資、新規事業領域（ADPKG、水素関連、LS）での成長を強化
- 設備投資額：SPE中心に研究・生産用設備、新棟建設（水素関連の拡張）など
- FY2024/03の実績は、1月予想比+98億円。SPEの生産能力拡充のため、土地建物取得。
- FY2028/03から始まる次の中期経営計画を睨んだ戦略投資

営業利益増減分析

FY2024/03 実績 vs FY2025/03 予想



※利益要因は、5億円刻みの「約」表記

- 》》》 売上増減/操業度の要因は、主にSPE
採算性の改善は、主にSPE、FT
固定費の増加要因は、主にSPEの成長投資（人件費、減価償却費、研究開発費など）
為替影響は、主にGA、PE

配当について

2024年3月期

過去最高を更新

中期経営計画「Value Up 2023」の連結総還元性向30%以上方針に沿って、株主様へ還元

※2023年10月1日付、1株を2株の割合で株式分割を実施しており、中間配当は株式分割前、期末配当は株式分割後を基準に配当

2025年3月期

過去最高更新を予想

新中期経営計画「Value Up Further 2026」では連結配当性向30%以上を株主還元方針として設定

2024年3月期					
	1月予想	5月発表	備考	(ご参考)株式分割前換算	
				1月予想	5月発表
1株当たり 中間配当	167円 実施済	167円 実施済	分割前株式数を 基準に配当	167円 実施済	167円 実施済
1株当たり 期末配当	119円	140円	分割後株式数を 基準に配当	238円	280円
合計	—	—	単純合計できないため 非表示	405円	447円

2025年3月期 (予想)			
	5月発表	備考	(ご参考)
			株式分割前換算
1株当たり 中間配当	100円	分割後株式数を 基準に配当	200円
1株当たり 期末配当	124円		248円
合計	224円		448円

中期経営計画 “Value Up Further 2026”概要

2024年3月期 通期 決算説明会

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 取締役社長（CEO）

廣江 敏朗

2024年5月9日



Value Up 2023 経済的価値 振り返り

すべての目標値を達成。収益性+効率性を向上

	最終年度の目標 (計画立案当初)	最終年度の目標 (2022年7月見直し後)	最終年度の結果 (FY2024/03)
売上高	4,000億円以上	5,000億円以上	5,049億円
営業利益率	15%以上	17%以上	18.6%
ROE	15%以上	20%以上	21.0%
営業CF	1,200億円以上 (4カ年累計)	2,400億円以上 (4カ年累計)	3,091億円 (4カ年累計)
株主還元	連結総還元性向 30%以上	連結総還元性向 30%以上	連結総還元性向 30.6%

すべて達成

Value Up 2023 経済的価値 各事業の中計振り返り

		最終年度の目標 (計画立案当初)	最終年度の目標 (2022年7月見直し後)	最終年度の結果 (FY2024/03)
連結	売上高	4,000億円以上	5,000億円以上	5,049億円
	営業利益率	15%以上	17%以上	18.6%
SPE	売上高	2,800~3,000億円		4,176億円
	営業利益率	18~20%		23.2%
GA	売上高	450~500億円		477億円
	営業利益率	6~8%		9.0%
FT	売上高	450~500億円		232億円
	営業利益率	8~10%		-1.8%
PE	売上高	120~140億円		146億円
	営業利益率	8~10%		12.7%

基本コンセプト：“ソリューションクリエイター”としての業界でのプレゼンス確立

基本戦略

イノベーションの創出と
持続的成長サイクルによる
企業価値向上

収益性と効率性を追求し、
利益に見合うキャッシュを
創出

評価



実績

- ・ 経営戦略と合致した技術開発戦略の展開
- ・ イノベーションマネジメントによる技術開発戦略の見直し
- ・ 既存事業のマーケットシェア向上や新規事業のスケールアップのための投資の継続

- ・ ROIC経営の浸透と事業ポートフォリオマネジメントの導入
- ・ S³-3、S³-4の投資により、生産性向上・収益改善
- ・ 不採算事業の構造改革の実施
- ・ キャッシュフローを重視する体制への変革

サステナブル企業に向けたESGへの取り組み

E（環境）：気候変動に対する取り組みと環境経営の実現



- SBTに基づく「事業活動によるCO₂排出削減（Scope 1 + 2）」の指標を達成
- TCFDに準拠した1.5°Cシナリオ分析の実施・開示、2050年カーボンニュートラル宣言の公表
- 半導体気候関連コンソーシアム（Semiconductor Climate Consortium）へ参画

S（社会）：働きがいのある職場の実現と社会的価値の創造



- 育成施策の拡充、働き方改革の推進や障がい者雇用の拡大など、多様な人材が活躍できる環境の整備が進捗
- エンゲージメントサーベイを導入
- 産学公連携活動を軸とした社会貢献活動が進捗（滋賀県との「包括的連携協定」締結など）
- 健康経営の実践、従業員の健康増進の取り組みを強化。「健康経営優良法人 ホワイト500」に認定

G（ガバナンス）：リスクに強いガバナンス体制と組織づくり

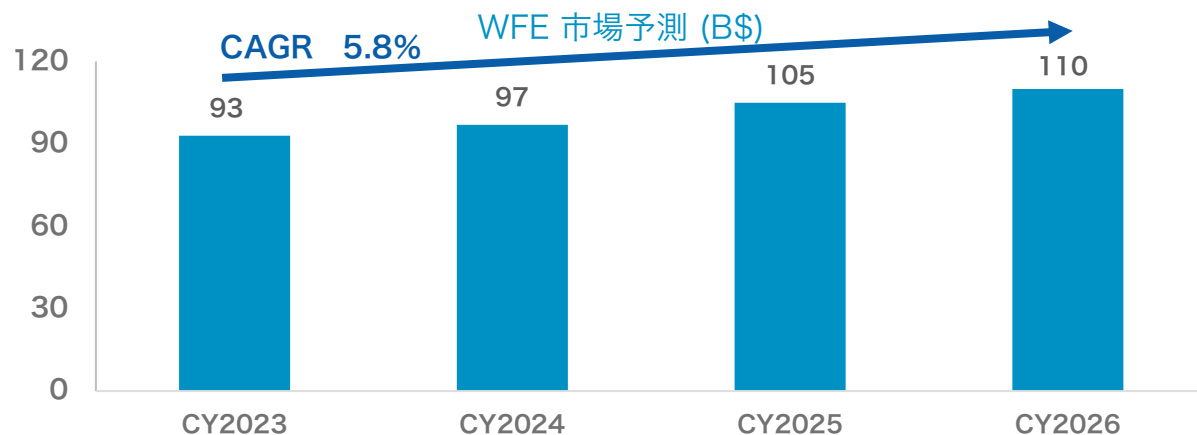


- 取締役会のスキルマトリックスを公表
- グループリスク委員会の設置（重要リスクを設定し、低減活動を実施）
- サプライヤーエンゲージメントの充実化に向けて行政・金融と連携

Value Up Further 2026 関連主要マーケットの見通し

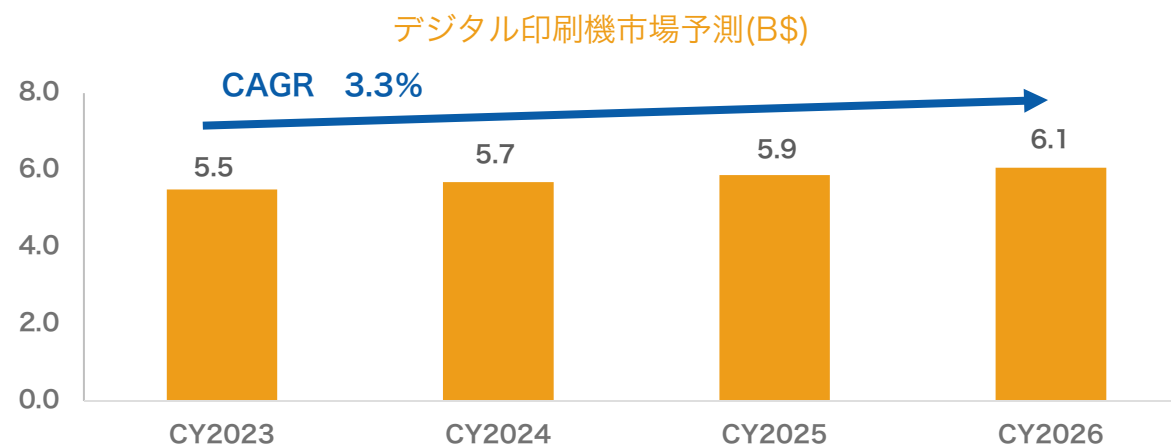
SPE

中国需要でCY2023～CY2024は想定より向上。
CY2025より生成AI起因のメモリー需給により投資が再活発化



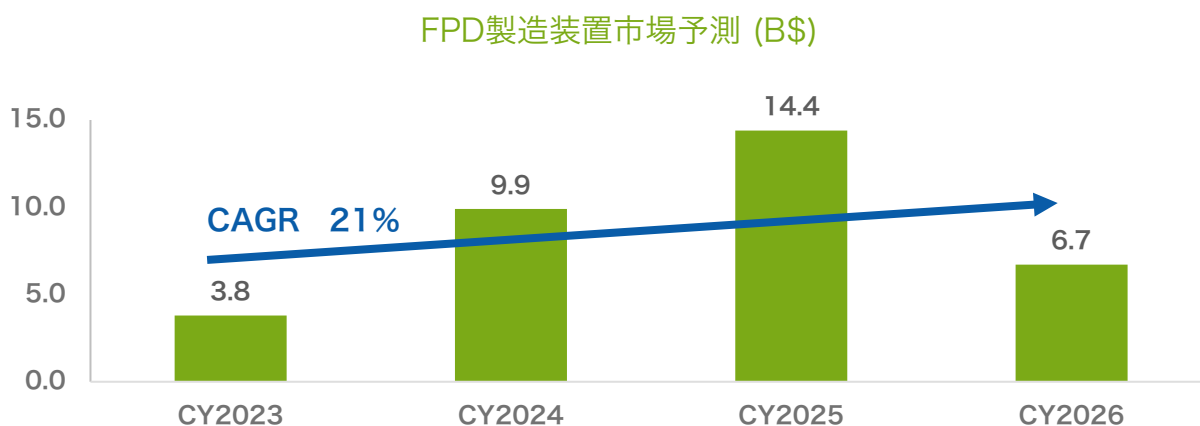
GA

安定的需要に支えられ、デジタル印刷は増加傾向



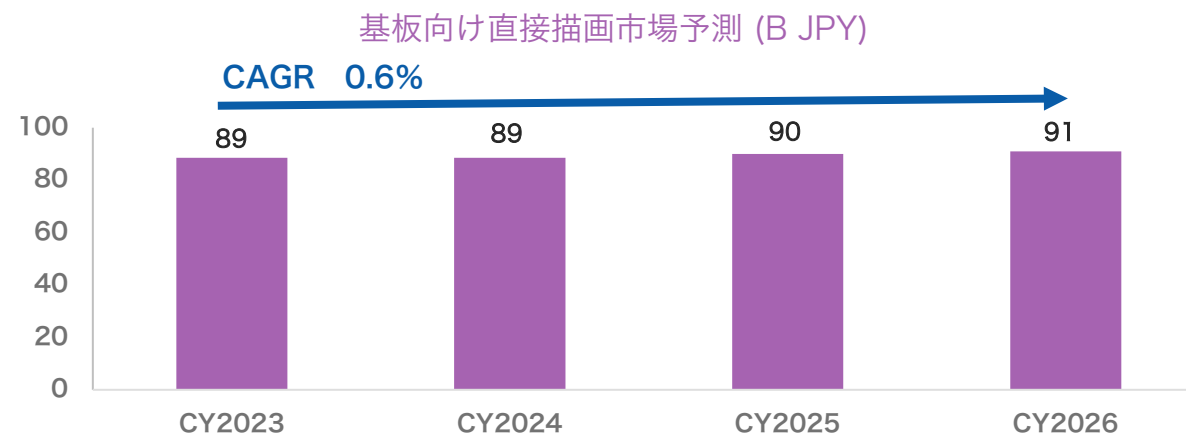
FT

CY2023の投資不調期からCY2024～CY2025は回復



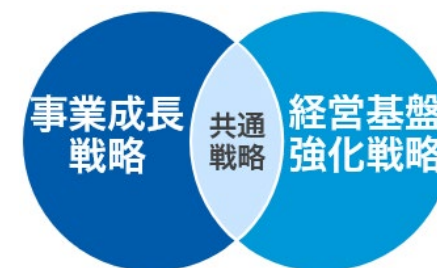
PE

市場は安定的に推移する見込み



新たな成長に向けてシフトチェンジ

前中計で構築した財務基盤を維持しつつ、10年後の「売上高1兆円企業」を目指した新たな成長への投資フェーズと位置付ける



事業成長戦略

- ポートフォリオ戦略：事業PF/製品PFによるポートフォリオマネジメントの実施
- 事業の成長戦略：業界でのプレゼンスを高め、企業価値向上を目指す
- イノベーションマネジメント：新技術・新製品の上市と100億円規模の新事業立ち上げ
- 知的財産戦略：事業戦略・技術戦略に基づく知財PFの構築

共通戦略

- サステナビリティ戦略：バリューチェーン全体でのESG（環境・社会・企業統治）活動を展開
- ブランド戦略：グローバルブランドとしてのプレゼンス確立

経営基盤強化戦略

- 人財戦略：組織の活性化と個の成長を目指す
- 財務戦略：事業成長を支える、リスク耐性のある財務基盤の構築
- 情報戦略：情報セキュリティ強化、DX推進による生産性向上
- ファシリティ戦略：事業成長や研究開発を支えるファシリティの充実

前中計実績 **Value Up 2023**
(FY2021/03-FY2024/03)
4年間累計

Value Up Further 2026
(FY2025/03-FY2027/03)
3年間累計 目標

累計売上高 1.7兆円

累計売上高 1.8兆円以上

通算営業利益率 15.1%

通算営業利益率 19%以上

ROIC 15.9%

ROIC 15%以上

株主還元方針 連結総還元性向
30%以上

株主還元方針 連結配当性向30%以上
(成長投資の進捗度合いに応じて、
機動的に自社株買いを実施)

* 上記項目の数値目標はオーガニック・グロースを前提

		前中計実績 (FY2021/03-FY2024/03) 4年間累計	Value Up Further 2026 (FY2025/03-FY2027/03) 3年間累計目標
連結	累計売上高	1.7兆円	1.8兆円以上
	通算営業利益率	15.1%	19%以上
SPE	累計売上高	1兆3,435億円	1兆5,000億円以上
	通算営業利益率	19.6%	23~25%
GA	累計売上高	1,740億円	1,500億円以上
	通算営業利益率	5.7%	6~9%
FT	累計売上高	1,174億円	1,000億円以上
	通算営業利益率	-1.1%	3~5%
PE	累計売上高	552億円	500億円以上
	通算営業利益率	14.6%	12~15%

*上記項目の数値目標はオーガニック・グロースを前提

人財戦略

経営戦略に沿った獲得・育成・リテンションのサイクルで人財戦略を立案・実施、組織の活性化と個人の成長を目指す

>>> 最終年度目標

従業員エンゲージメント
スコアの向上

70%以上*

* 最終年度は連結での実績を目指す

サステナビリティ戦略

長期的なESG課題解決に向け、バリューチェーン全体での取り組みを実施する

GHG排出削減

Scope 1&2
事業活動による排出
(排出総量)

70%以上削減

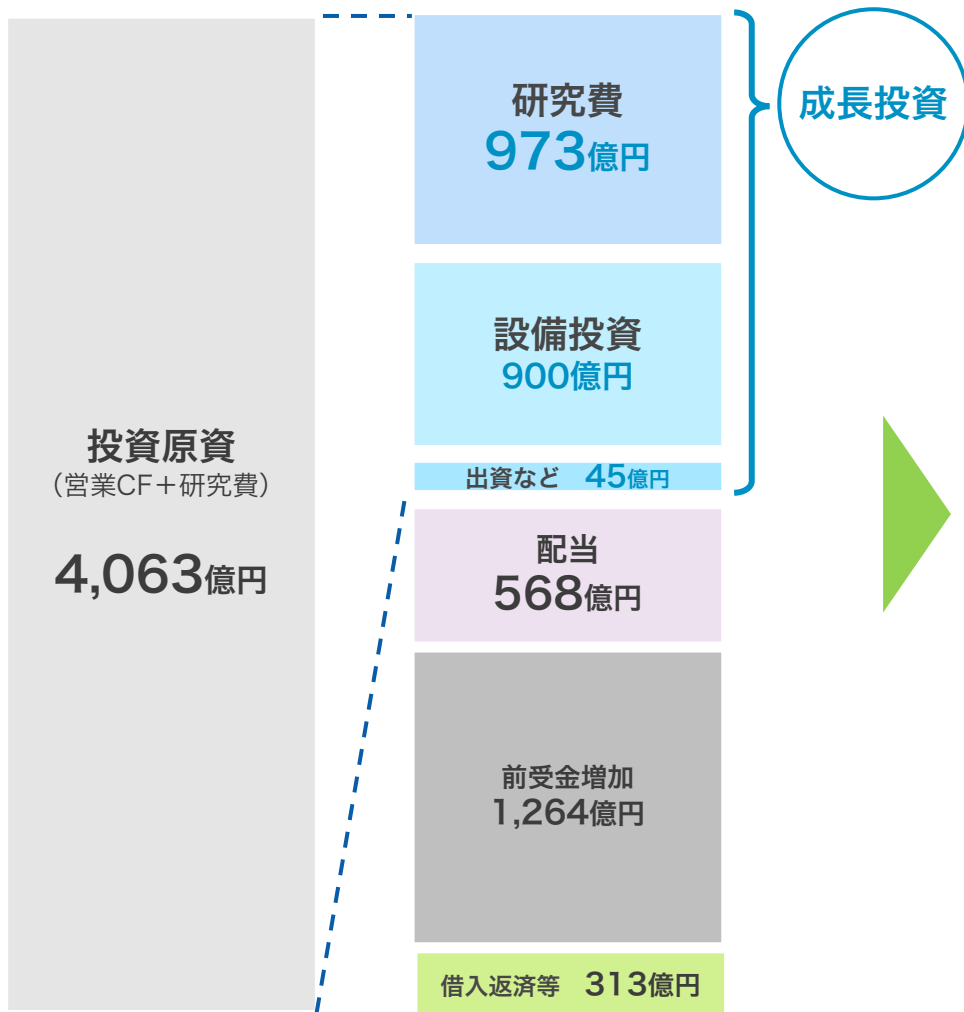
Scope 3
販売製品による排出
(売上総利益原単位)

48%以上削減

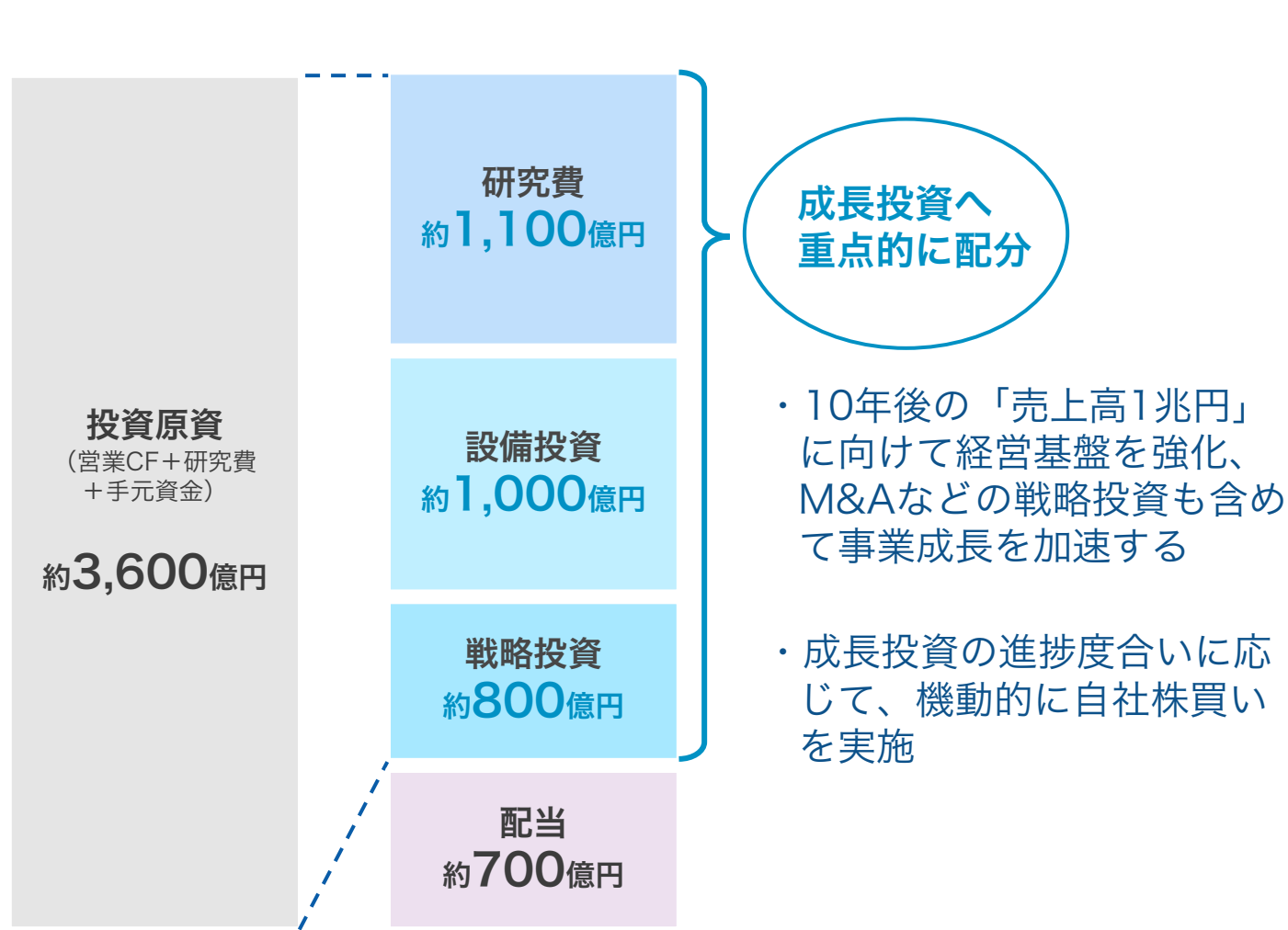
* 2019年3月期比

Value Up Further 2026 キャッシュアロケーション (中計3カ年累計)

前中計
(FY2021/03-FY2024/03)
4年間累計



中計
(FY2025/03-FY2027/03)
3年間予想



SPE

主な取り組み

1. 洗浄装置マーケットシェアの向上
→ 開発体制の拡充と、新PORの獲得
2. 生産キャパシティの拡大
→ 生産技術力向上による工程短縮や自動化推進
3. 事業基盤の強化
→ DX活用による業務効率化
→ 高度人材の確保育成

3カ年累計目標

売上高

1兆5,000億円以上

営業利益率

23%~25%

GA

主な取り組み

1. POD装置販売の拡大
→ 大手アカウントへのアプローチ強化
2. リカーリング事業の拡大
→ 顧客稼働率向上への取組み
3. パッケージ印刷ビジネスの確立

3カ年累計目標

売上高

1,500億円以上

営業利益率

6%~9%

FT

主な取り組み

- 1.ディスプレイビジネスの収益性向上
- 2.“塗工”技術強化と応用分野拡大
 - R2R製品技術の拡充
- 3.製品製造の受託事業の拡大
 - ADPKG/水素関連製品

3カ年累計目標

売上高

1,000億円以上

営業利益率

3%~5%

PE

主な取り組み

- 1.直接描画露光装置の業界プレゼンス向上
 - SR (ソルダーレジスト) 向け直接描画でのシェア向上
 - 回路パターンレジスト向け直接描画の上市
- 2.直接描画アプリケーションの拡大探索

3カ年累計目標

売上高

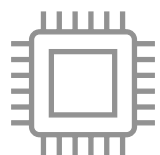
500億円以上

営業利益率

12%~15%

新規事業

100億円規模の新規事業創出



□ ADPKG

- ・ 既存製品の市場プレゼンス向上（直接描画、コーター）
- ・ 新規製品のリリース（Cu/Cu低温ハイブリッドボンディング、他）
- ・ 最終年度黒字化



□ 水素関連事業

- ・ 水素MEAの受託生産体制確立
- ・ 最終年度黒字化



□ ライフサイエンス

- ・ 既存製品の拡販
 - 細胞検査事業の強化
 - 錠剤インクジェットの販売強化
- ・ がん個別化医療のビジネスモデル確立
- ・ アドリアカйм社の医療認証取得を目指した協業推進

最近のグループニュース（公式サイトより抜粋：2024年2月1日～2024年5月9日）

HD

- 「Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター 2024」を3年連続で受賞（2024.3.7）
- 健康経営銘柄に初選定 2年連続で「健康経営優良法人～ホワイト500～」にも認定（2024.3.12）
- 滋賀県と「包括的連携協定」を締結（2024.3.25）
- 大河内記念生産賞を初受賞（2024.3.27）

SPE

- 樹脂加工を手掛けるフェニックス社の全株式を取得・商号を変更
～子会社化により半導体製造装置部品の安定供給に貢献～（2024.2.6、2024.3.29）

GA

- 印刷市場に革新をもたらす「Truepress JET 560HDX」を開発（2024.2.6）
- 「Truepress LABEL 350UVシリーズ」が日本印刷学会「技術賞」を受賞（2024.4.18）
- 京都市立芸術大学へオリジナルフォントを提供（2024.5.7）

AS

- 因果探索アプリケーション「Causalas（コーザラス）」を発売（2024.2.28）

印刷市場に革新をもたらす「Truepress JET 560HDX」を開発 <2024年2月6日>

商業印刷・DM印刷・出版印刷市場向け的高速連帳デジタルインクジェット印刷機

- 用紙幅560mmに対応し、最大印刷速度150m/分、最大印刷解像度1,200dpix1,200dpiの範囲において、複数モードでの印刷が可能
- 搭載の新開発インク「Truepress ink SC2」は、オフセットコート紙に表面処理なしで直接印刷できる高濃度インク。画像をより鮮やかに、細やかな文字も鮮明に印刷可能
- 新構造のドライヤーユニットで高いインク濃度の印刷物を効率的に乾燥。さまざまな用紙で高品質な印刷を実現
- ドイツ・デュッセルドルフで開催の「drupa 2024」にて展示を予定（2024年5月28日～6月7日開催）



Truepress JET 560HDX

- ✓ 多品種小ロット印刷やバリエブル印刷が可能なデジタル印刷機のニーズに応える
自動化・省人化実現に向け、デジタルフロントエンドシステムを提供、印刷業界の変革に貢献する



「Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター 2024」を3年連続で受賞 <2024年3月7日>

特許データの分析から見る世界の革新的な企業・機関トップ100に選出され、
「Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター 2024」を受賞 (今年で3年連続)

- 「Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター」は世界的な情報サービス企業であるクラリベイト社が保有する特許データを基に、世界の企業・機関の知財動向を分析し、評価するもの
- 評価は2段階のアプローチに基づき、下記の要素から構成
 - 1段階目・・・2000年以降に500件以上出願、過去5年間で特許登録された発明を100件以上保有。国際的な発明の割合と規模に基づき評価
 - 2段階目・・・「影響力」「成功率」「地理的投資」「希少性」の4つの要素など

Top 100
Global
Innovator
2024

 Clarivate™

- ✓ 今後も「ソリューションクリエイター」として社会課題を解決する研究開発と、それを支える知的財産活動をさらに強化

健康経営銘柄に初選定、2年連続で「健康経営優良法人～ホワイト500～」にも認定 <2024年3月12日>

健康経営を実施する上場企業の中から、特に優れた取り組みを実践している企業として「健康経営銘柄2024」に初選定。また、優良な健康経営を実践している法人として「健康経営優良法人2024 ～ホワイト500～」に2年連続で認定される

- 健康経営銘柄

東京証券取引所の上場会社の中から「健康経営」に優れた企業を選定。長期的な視点からの企業価値の向上を重視する投資家にとって、魅力ある企業として紹介することを通じ、企業による「健康経営」の取り組みを促進する



- 健康経営優良法人認定制度

地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進活動を基に、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業などの法人を顕彰する制度



✓ 今後も従業員の健康増進を重要な経営課題と位置付け、健康経営への取り組みをさらに進展させる

滋賀県と「包括的連携協定」を締結 <2024年3月25日>

当社グループおよび滋賀県が有する人的・物的資源を有効に活用し、地域の一層の活性化を図ることを目的に連携・協力する

当社グループは、事業活動をESG課題の解決につなげ、社会的価値の向上に導くサステナブル経営を推進。未来社会の理想像と当社のあるべき未来像実現に向けた価値創造に取り組み、サステナブルな社会を目指す

連携内容：

- (1) CO₂ネットゼロ社会づくりに関すること
- (2) 環境保全に関すること
- (3) スポーツ・文化の振興に関すること
- (4) 健康増進に関すること
- (5) 次世代育成・障がい者支援に関すること
- (6) 専門人材の派遣・育成・交流に関すること
- (7) 産業基盤の強化に関すること



締結式の様子

（左から）
SCREENホールディングス 会長 垣内 永次
滋賀県 三日月 大造 知事

✓ 本協定に基づき、滋賀県と共に地域社会の活性化に向けた取り組みを進め、地域社会の持続的な発展に貢献

大河内記念生産賞を初受賞 <2024年3月27日>

公益財団法人 大河内記念会が主催する第70回大河内賞において「大河内記念生産賞」を受賞

- 「半導体デバイスの微細化と生産性向上に貢献する半導体洗浄装置の開発」において、洗浄乾燥性能、生産性、環境性能の優れた特性と強固な製品競争力を有している点を評価
- 当社の半導体洗浄装置は、精緻な流体シミュレーション技術などを駆使し、高精度な洗浄技術、優れた洗浄乾燥性能と高スループット化による高い生産性を実現。効率的な薬液循環システムにより薬液の使用量を節減し、製造工程における環境負荷の低減に貢献する

大河内賞

- ✓ 日本の生産工学、生産技術にかかる研究開発において、卓越した業績をあげた研究者や企業などの功績をたたえる権威ある賞
- ✓ 「大河内記念生産賞」は生産技術、高度生産方式など、優れた発明や考案により、産業上の顕著な業績をあげた事業体に贈られる



表彰式の様子

- ✓ 今後もお客さまの幅広いニーズに対応し、エレクトロニクス業界へのさらなる発展に貢献



樹脂加工を手掛けるフェニックス社の全株式を取得・商号を変更 <2024年2月6日・3月29日>

子会社化により半導体製造装置部品の安定供給に貢献

樹脂製品などの製作・加工を行うフェニックス精工株式会社（以下、フェニックス社、滋賀県彦根市）の全株式を取得し、完全子会社化。4月1日付で商号を株式会社SCREEN SPE プラスティックプレシジョンに変更

- フェニックス社は、樹脂製品の精密加工、ユニット組立などを行い、中でも半導体製造装置に欠かせない塩化ビニル製品の溶接加工を得意とする。従来からの重要なパートナー企業の1社
- 樹脂加工技術と、当社が持つ洗浄装置の技術ノウハウを融合。半導体製造装置に用いられる塩化ビニル製品の性能向上を実現

✓ 設計部門、生産部門の連携強化により、生産改善によるリードタイムの短縮にも貢献

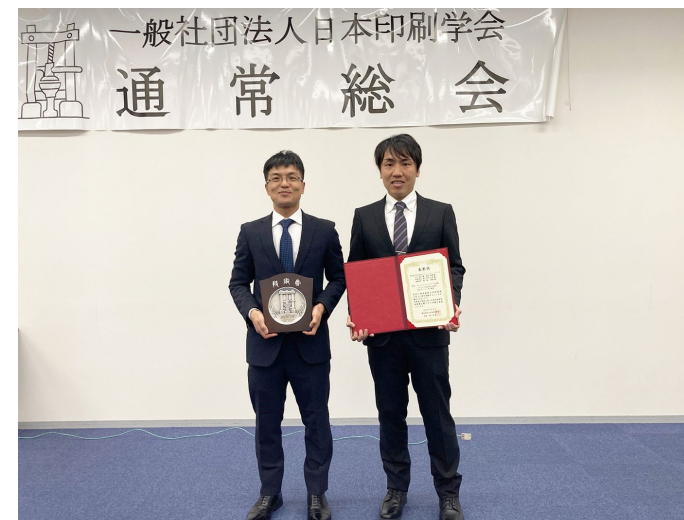
「Truepress LABEL 350UVシリーズ」が日本印刷学会「技術賞」を受賞 <2024年4月18日>

日本印刷学会の「技術賞」は、印刷産業の発展や印刷技術の他産業への応用について、顕著な貢献を果たした技術を表彰。新規性や進歩性、市場性、展開性などの面から審査される

当社は印刷技術の発展に寄与したことが高く評価され、受賞。同賞において6年ぶり5度目の受賞となる

Truepress LABEL 350UVシリーズ

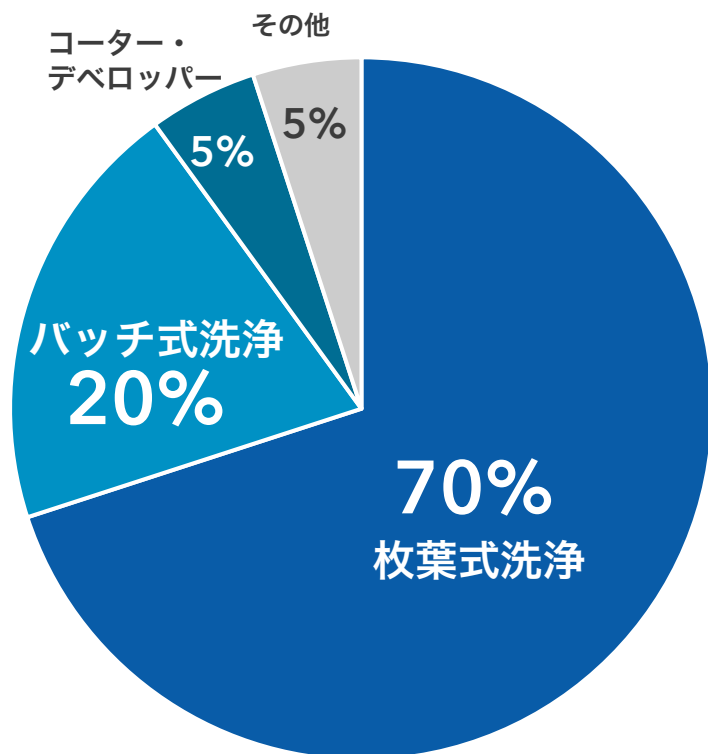
- ラベル印刷における高い生産性・品質・安定性を実現
- 食品向けの低臭低浸透のLMインクを使用
- オレンジ・ブルーインクにより広い色域を表現
- 極小ロット向けのバリエーションシステムなど、多様な機能やモデルを継続的に開発



表彰式の様子

✓ 今後も、UVインクジェットラベル印刷の分野をリードし、印刷業界の発展に貢献する

製品別売上高比率 - FY2024/03 通期



(%)	FY2021/03	FY2022/03	FY2023/03	FY2024/03
枚葉式洗浄	70	70	65	70
バッチ式洗浄	25	25	25	20
コーター・デベロッパー	5	5	5	5
その他	0	0	5	5

※上記比率は、5%刻みの「約」表記

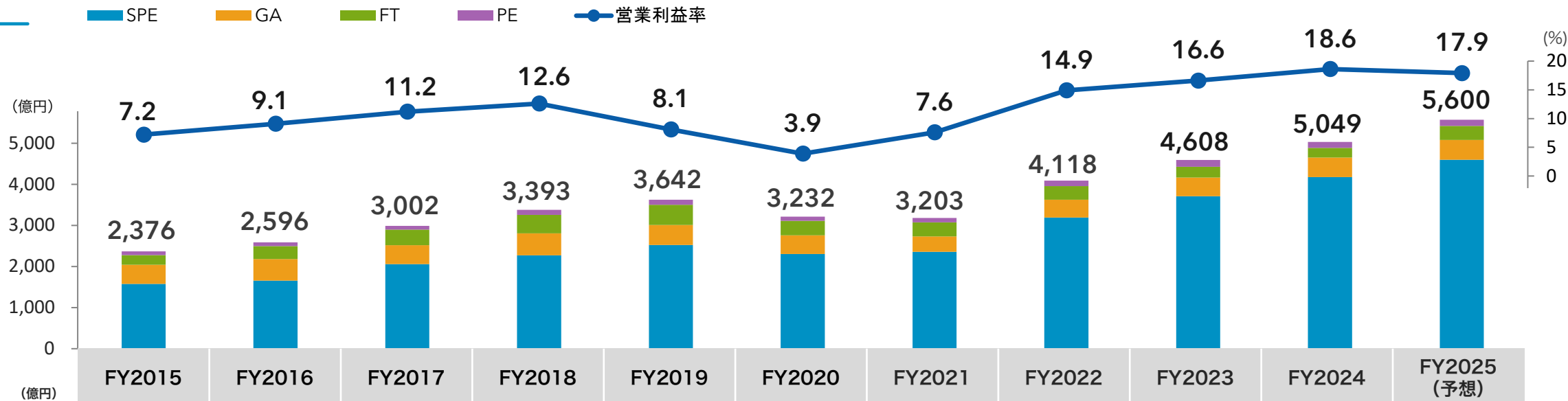
Appendix 主要数値の変遷

(億円)	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025 予想
売上高	2,376	2,596	3,002	3,393	3,642	3,232	3,203	4,118	4,608	5,049	5,600
営業利益	171	235	337	427	296	125	244	612	764	941	1,000
営業利益率 (%)	7.2	9.1	11.2	12.6	8.1	3.9	7.6	14.9	16.6	18.6	17.9
総資産	2,495	2,700	3,006	3,658	3,809	3,479	3,826	4,593	5,628	6,768	-
自己資本	1,108	1,196	1,428	1,708	1,791	1,739	2,083	2,477	2,998	3,718	-
自己資本比率 (%)	44.4	44.3	47.5	46.7	47.0	50.0	54.5	53.9	53.3	54.9	-
ROE (%)	12.3	16.3	18.4	18.2	10.3	2.8	7.9	19.9	21.0	21.0	-
減価償却費	48	50	53	57	68	88	96	95	87	108	130
設備投資額	66	63	82	144	240	79	78	134	290	398	300
研究開発費	139	151	177	208	228	215	215	240	247	270	330
EPS (円)	255.35	396.75	511.96	608.62	387.10	107.37	325.21	976.55	1,216.33	742.10 ^{※1}	741.77
配当金 (円)	35	60	87	110	97	30	90	293	365	- ^{※2}	224

※1 2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。FY2024/03のEPSは、当期首に株式分割が行われたと仮定し算定しています

※2 FY2024/03の配当金は、株式分割の実施により単純合計できないため非表示

Appendix セグメント別業績推移



		FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025 (予想)
SPE	売上	1,574	1,658	2,060	2,271	2,525	2,305	2,355	3,193	3,709	4,176	4,600
	営業利益	157	187	293	363	258	161	259	628	769	970	1,060
	営業利益率	10.0%	11.3%	14.2%	16.0%	10.2%	7.0%	11.0%	19.7%	20.7%	23.2%	23.0%
GA	売上	467	523	458	534	482	455	374	433	456	477	480
	営業利益	28	31	14	30	11	14	5	16	33	42	30
	営業利益率	5.1%	5.2%	3.2%	5.7%	2.4%	3.2%	1.4%	3.8%	7.4%	9.0%	6.3%
FT	売上	237	315	381	452	492	351	347	332	261	232	340
	営業利益	3	27	43	45	37	-25	4	5	-18	-4	10
	営業利益率	1.3%	8.7%	11.5%	10.2%	7.7%	-7.3%	1.3%	1.8%	-7.0%	-1.8%	2.9%
PE	売上	89	89	89	121	123	100	104	133	168	146	150
	営業利益	-	-	7	10	7	-2	7	20	33	18	20
	営業利益率	- %	- %	8.4%	8.3%	6.2%	-2.6%	7.4%	15.6%	19.9%	12.7%	13.3%